

令和6年度沖縄振興特別推進交付金事業（県分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	136 おきなわユニバーサルツーリズム推進事業	新沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所（第4章）	3-(2)-7-③				
			多様な受入環境の整備				
担当部署	文化観光スポーツ部 観光振興課	事業実施（予定）年度	H30～R13	年度	新沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ-1-(1)	
事業内容	沖縄を訪れるすべての観光客が、年齢や性別、国籍、障がいの有無等に関わらず沖縄を楽しめるように、観光関連事業者による多様な受入環境整備を促進するとともに、本県のユニバーサルツーリズムにかかる情報発信を行い、国内外の高齢者・障がい者等の当事者のみならず、その家族・同行者等も含め沖縄観光に対する来訪意欲、満足度の向上を図ることを目的とする。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度（ 年度）						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他（ ）						
予算額・執行額 【単位：千円】		R4年度	R4年度（繰越）	R5年度	R5年度（繰越）	R6年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	18,770		21,891		21,451
		(b) 予算現額	18,770		21,891		21,451
		(c) 増減額 (b-a)	0	0	0	0	0
		(d) 前年度繰越額					
		A. 計 (b+d)	18,770	0	21,891	0	21,451
	執行状況	B. 執行済額	17,693		21,150		21,317
		うち交付金充当額	14,154		16,920		17,053
		C. 次年度繰越額			0	0	0
	執行率 (%) (B/A)	94.3%		96.6%		99.4%	
予算の状況の説明	・執行率は99.4%であり、概ね計画的に執行できた。						
活動目標（指標）及び進捗状況	R6活動目標（指標）		進捗状況				
			R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	
	①テーマ別のセミナー実施や観光パリアフリーアドバイザーの派遣	目標	・セミナー実施 ・アドバイザー派遣	・セミナー実施 ・アドバイザー派遣	・セミナー実施 ・アドバイザー派遣	・セミナー実施 ・アドバイザー派遣	
		実績	・セミナーを実施した ・アドバイザーを派遣した	セミナー及びアドバイザー派遣(8回)	セミナー及びアドバイザー派遣(7回)	セミナー及びアドバイザー派遣(10回)	
	②国内外での旅行博への出展	目標	・展示会への出展	・展示会への出展	・展示会への出展	・展示会への出展	
		実績	・展示会へ出展した	展示会への出展(2回)	展示会への出展(1回)	展示会への出展(2回)	
	③ユニバーサルツーリズム推進にかかる取組状況調査の実施	目標	-	-	1回	1回	
実績		-	-	1回	1回		
進捗状況説明	①観光関連事業者を対象としたセミナー及びアドバイザー派遣を10回実施した。 ②おきなわユニバーサルツーリズムのプロモーションのため、展示会に2回出展した。 ③ユニバーサルツーリズム推進にかかる取組状況調査の回答について、102事業者から回収できた。						
成果目標（指標）及び達成状況	R6成果目標（指標）		基準値（〇〇年度）	R4年度	R5年度	R6年度	目標値（R7年度）
	①セミナーやアドバイザー派遣事業の実施	目標		5回	6回	7～9回	
		実績		8回	7回	10回	
	②受講者100人以上（セミナー、アドバイザー派遣）	目標		100人	110人	120人	
		実績		210人	リアル参加43人 視聴回数570回	リアル参加139人 視聴回数409回	
	【R7 成果目標】 心のバリアフリー認定制度の周知と同制度の認定促進に向けた取組（新規認定10件以上）	目標		10件	10件	10件	10件
		実績		6件	17件	13件	
達成状況説明	①セミナーやアドバイザー派遣事業の実施回数は、目標が6回で実施回数が10回となっており、目標を達成した。 ②セミナー及びアドバイザー派遣の受講者数は、リアル参加139人視聴回数409回となっており、目標を達成した。						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<p>高齢者、障がい者に加え、性的マイノリティの方、妊婦、病気療養中の方など当事者のみならずその家族・同行者も含め、観光をする上で支援が必要となる方々の多種多様なニーズに応じた受入環境整備とともに、ユニバーサルツーリズムにかかる情報発信が必要である。</p> <p>また、ユニバーサルツーリズムの円滑な推進のために関係機関との連携を強化する必要がある。</p>	<p>受入環境整備といってもハード面の整備だけでなく、観光関連事業者や県民一人ひとりが、「心のバリアフリー」を意識していくことで、世界から選ばれる持続可能な観光地形成を目指す。</p>

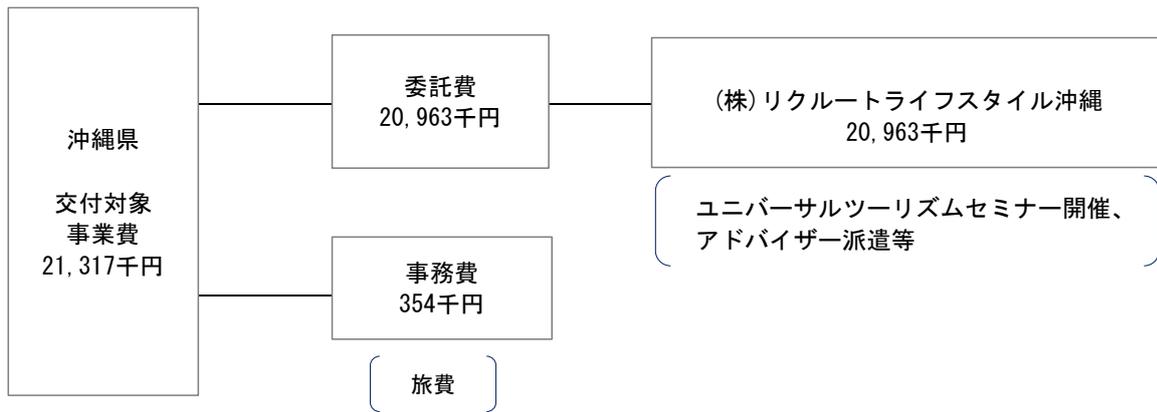
今後の取り組み方針

・県内の観光関連事業者に対し、観光庁が創設した「心のバリアフリー」認定制度の周知を図り、同制度の認定事業者数を増やすことで、誰もが気兼ねなく参加できる「おきなわユニバーサルツーリズム」をさらに促進させる。

・また、ユニバーサルツーリズムの円滑な推進のために、関係各所と定期的な意見交換会を実施し情報共有を図る。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	うち交付金充当額	うち県負担金	うち市町村負担金	その他	交付対象外経費
21,317	21,317	17,053	4,264	0	0	0



資金の 使途の 流れ、 費目 点検 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	<p>○委託事業者は公募型プロポーザル方式により企業組織、実績、知識等を勘案した上で選定しており、妥当であったと考えている。</p> <p>○費目・使途が事業目的達成の観点から必要なものかなどについて、額の確定検査時に支出に関する書類確認を行った結果、適正であった。</p>
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

令和6年度沖縄振興特別推進交付金事業（県分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	138	外国人観光客受入体制強化事業	新沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所 (第4章)	3-(2)-7-②			
				快適で魅力ある観光まちづくりの推進			
担当部課名	文化観光スポーツ部	観光振興課	事業実施 (予定)年度	H27~R13	年度	沖縄振興基本方針 該当箇所	Ⅲ-1-(1)
事業内容	<p>①外国人観光客の利便性の確保を図るため、外国人観光客向け多言語MAPやマナーブック等を製作し、県内事業者へ配布する。</p> <p>②県民向けに、イベント、メディアを活用した外国人観光客受入意識向上のためのプロモーションを実施する。</p> <p>③ムスリムやベジタリアンなどの食の多様性への対応を目指す店舗等向けの食の多様性について理解を深めるためのセミナーの開催等を実施する。</p> <p>④インバウンドビジネスの専門家によるセミナーやハンズオン支援を実施。</p>						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】	予算の状況	(a) 当初予算額	R4年度	R4年度(繰越)	R5年度	R5年度(繰越)	R6年度
		(b) 予算現額	19,962		25,469		25,989
	(c) 増減額(b-a)	19,962	0	25,469	0	25,989	
	(d) 前年度繰越額	0	0	0	0	0	
	A. 計(b+d)	19,962	0	25,469	0	25,989	
	B. 執行済額	19,597		25,360		25,721	
	うち交付金充当額	15,678		20,287		20,577	
	C. 次年度繰越額	0		0	0	0	
	執行率(%) (B/A)	98.2%		99.6%		99.0%	
	予算の状況の説明	執行率は99.0%であり、概ね計画的に執行できた。					
活動目標 (指標) 及び進捗状況	R6活動目標(指標)		進捗状況				
	①受入ツール作成	目標	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	
		実績	1件	1件	2件	1件	
	②Web、SNS等を含めた各種メディアを活用した県民啓発、県民個人や企業の受入環境整備を促す取組の実施	目標	3件	1件	2件	3件	
		実績	実施	実施	実施	実施	
	③食の多様性対応セミナーの実施	目標	実施	実施	実施	実施	
		実績	1回	1回	1回	1回	
	④インバウンドビジネスセミナーの実施	目標	1回	2回	2回	1回	
		実績	3回	1回	1回	1回	
	進捗状況説明	<p>①受入ツールとして、「ヴィーガン・ハラール対応マニュアル」等を作成し、目標を達成できた。</p> <p>②Web、SNS等を含めた各種メディアを活用した県民啓発の実施について、目標を達成できた。</p> <p>③食の多様性セミナーを1回開催し、目標を達成できた。</p> <p>④インバウンドビジネスセミナーを2回開催し、目標を達成できた。</p>					

成果目標 (指標) 及び達成状況	R6成果目標(指標)		基準値	R4年度	R5年度	R6年度	目標値	
			(〇〇年度)				(〇〇年度)	
成果目標 (指標) 及び達成状況	①受入ツール制作業務 ・受入ツール配布数 ・配布した県内事業者に対し、ツールが外国人観光客の対応に役立ったか(80%以上)を含め、事業のあり方をアンケートにより検証する。	目標		1,000部 80.0%	1,000部 80.0%	1,000部 80.0%		
		実績		配布数不明 79.6%	12,000部 79.6%	2,200部 95.3%		
	②インバウンド受入強化啓発業務 ・メディアPV数 ・プロモーションの県民へのリーチ数 ・県民の外国人観光客をおもてなしの心で迎え入れる意識が向上したか(80%以上)を含め、事業のあり方をアンケートにより検証する。	目標		5,000PV/ 250,000GRP 80%	5,000PV/ 250,000GRP 80%	5,000PV/ 250,000GRP 80%		
		実績		4,467PV 94%	22,758PV 94%	64,611PV 85.8%		
	③食の多様性対応促進業務 ・セミナーの参加者数	目標		各20名以上	各20名以上	各20名以上		
		実績		41名	53名	35名		
	④インバウンドビジネスサポート業務 ・セミナーの参加者数 ・観光事業者に対するハンズオン支援	目標		20名以上 5社以上	20名以上 5社以上	20名以上 5社以上		
		実績		57名 2社	51名 0社	30名 10社		
	達成状況説明	①について、アンケートの結果、受入ツールが役に立ったと回答が95.3%の為、目標を達成できた。 ②について、メディアPV数が64,611PV、アンケート結果で「迎え入れる意識が向上した」と回答した割合が85.8%の為、目標を達成できた。 ③について、セミナーへの参加者は35名の為、目標を達成できた。 ④について、セミナーの参加人数が30名、観光事業者に対するハンズオン支援を10社行い、目標を達成できた。						

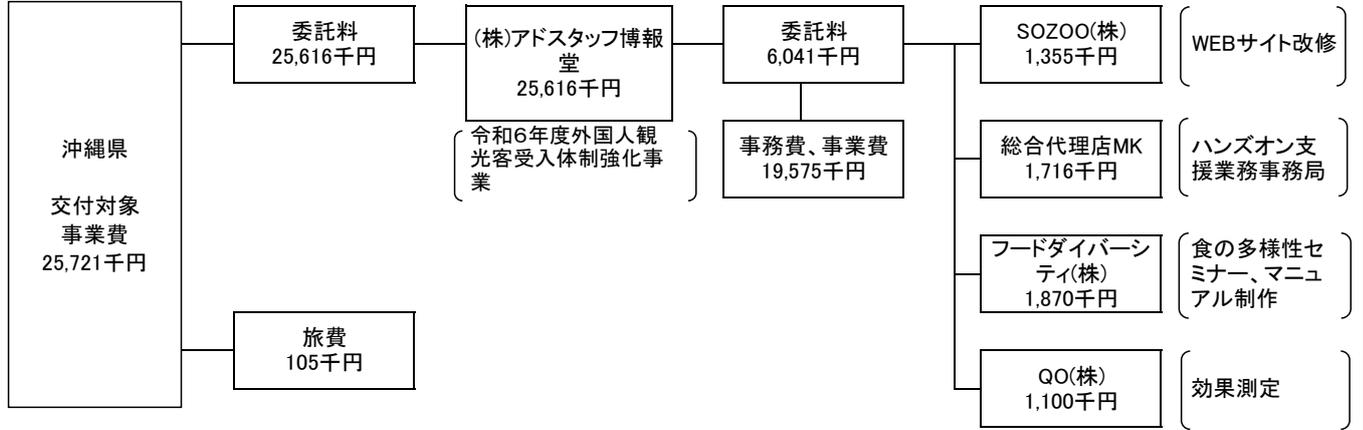
R6-No.138

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
		①観光需要が急激に回復している。外国人観光客についても、東アジアを中心に航空路線やクルーズが再開し、回復傾向にある。令和7年夏、ジャングルアが開業する北部圏域や、宮古・八重山等離島圏域にも、外国人観光客が増加することが見込まれるが、十分な受入体制が構築されていない。 ②インバウンドの本格的回復に向けて、改めて県民に対し、インバウンド受入の重要性等を啓発することにより受入意識の高揚や、県内事業者向けにインバウンド関連ビジネスの価値向上を図る。
今後の取り組み方針		
・インバウンド向けのマナー啓発において、既存の紙媒体から、より見られる電子媒体での周知に取組むとともに、中身を見直して改修を行う。 ・外国人観光客の満足度向上に向けて、セミナーの開催と併せて事業者からニーズの高いインバウンド受入能力拡大に係るハンズオン支援を重点的に実施する。事業者向けWEBページを改修・更新し、閲覧数の向上につなげる。		

資金の流れ

(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	うち交付金充当額	うち県負担金	うち市町村負担金	その他	交付対象外経費
25,721	25,721	20,577	5,144	0	0	0



資金の 使途の 流れ、 点検 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○各事業業務委託の委託先の選定については、事業内容に応じて企画提案選定を適切に実施し、適正に業者を選定した。 ○事業内容に見合う適正な予算規模であった。 ○費目・使途については、事業期間中及び完了時に証憑等の関係書類を検査し、適正であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

令和6年度沖縄振興特別推進交付金事業（県分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	139	観光危機管理体制構築支援事業	新沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所（第4章）	3-(2)-7-①			
				「安全・安心の島」の構築に向けた受入体制等の整備			
担当部課名	文化観光スポーツ部	観光振興課	事業実施（予定）年度	H24～R13	年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ-1-(1)
事業内容	<p>観光地としての安全・安心を確保するということ課題に対応するため、国、市町村、OCVB、地域観光協会、観光業界等と連携して観光危機管理に関する先導的な取組を実施する。</p> <p>具体的には、①観光危機管理意識の醸成、②観光客受入体制強化支援、③観光危機管理訓練の実施、④市町村の観光危機管理計画策定支援、⑤関係機関との連携体制の構築を実施する。</p>						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度（ 年度）						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他（ ）						
予算額・執行額【単位：千円】	予算の状況		R4年度	R4年度（繰越）	R5年度	R5年度（繰越）	R6年度
		(a) 当初予算額	20,590		25,859		22,256
		(b) 予算現額	20,590		25,859		22,256
		(c) 増減額 (b-a)	0	0	0	0	0
		(d) 前年度繰越額					
		A. 計 (b+d)	20,590	0	25,859	0	22,256
		B. 執行済額	20,178		25,783		21,497
		うち交付金充当額	16,142		20,626		17,198
		C. 次年度繰越額	0	0	0	0	0
		執行率 (%) (B/A)	98.0%		99.7%		96.6%
予算の状況の説明	執行率は96.6%であり、概ね計画的に執行できた。						
活動目標（指標）及び進捗状況	R6活動目標（指標）		進捗状況				
			R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	
	①観光危機管理セミナー・勉強会における専門家派遣（2回）	目標		5回	5回	2回	
		実績		2回	8回	2回	
	②観光危機管理図上訓練の実施（1回）	目標	1回	1回	1回	1回	
		実績	1回	1回	1回	1回	
	③市町村の観光危機管理計画策定支援	目標	実施	実施	実施	実施	
		実績	実施した	実施した	実施した	実施した	
	④観光危機情報の発信	目標	2回	2回	2回	2回	
		実績	2回	2回	2回	2回	
進捗状況説明	<p>①市町村における観光危機管理対応勉強会の実施（専門家派遣） 内容：内容観光危機の減災対策、観光客への情報発信・避難誘導・安全確保、帰宅困難者対策 沖縄本島全域（北部・中部・南部 5月）、宮古・八重山圏域（7月）、久米島圏域（10月）</p> <p>②帰宅支援対策図上訓練 震度6強の地震・津波被害を想定し、空港・港等の機能が失われた状態から観光客を帰宅させるまでのオペレーションについて、関係機関（国、県、市町村、OCVB、観光関連団体等）を交えて訓練を実施した。 参加者：73団体158名（国・県・市町村・OCVB・観光関連団体等） ・内容：シェイクアウト（初動対応）、帰宅支援対応訓練</p> <p>③市町村及び観光関連事業者体制強化支援 市町村に対する観光危機管理計画の策定及び見直し、観光関連団体に対する事業継続計画（BCP）などの策定及び見直しを目的としたワークショップ型勉強会を実施。（令和7年1月21日～24日の4日間）</p> <p>④情報発信 観光危機情報について、おきなわ物語WEBサイトでの情報発信、インバウンド向けVISIT OKINAWA JAPANで情報発信を行った。</p>						

成果目標 (指標) 及び達成状況	R6成果目標(指標)	基準値 (〇〇年度)	R4年度	R5年度	R6年度	目標値 (〇〇年度)
			目標	実績	実績	実績
①専門家派遣を受ける市町村数	目標		2市町	2市町	2市町	
	実績		2市町	2市町	6市町村	
②セミナー参加団体	目標		30団体	30団体	30団体	
	実績		30団体	30団体	40団体	
③訓練参加団体	目標		20団体	20団体	20団体	
	実績		25団体	45団体	73団体	
達成状況説明	①八重山圏域、宮古圏域、久米島町の計6市町村を対象に専門家による観光危機管理対応勉強会を開催し、目標を達成した。 ②観光危機管理対応・事業継続計画に係るセミナーを開催し、40団体が参加し、目標を達成した。 ③沖縄本島全域で勉強会を実施し、当日の参加団体は、73団体158名となり、目標を達成した。					

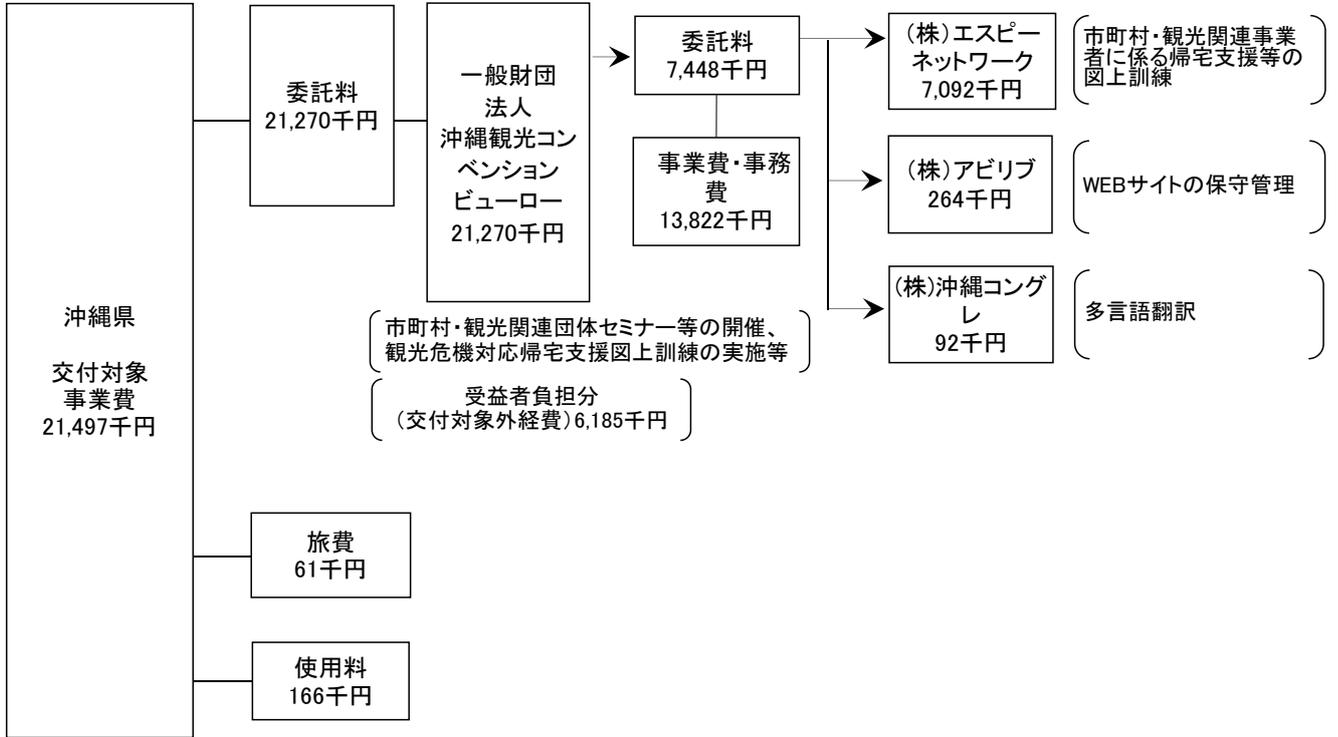
R6-No.139

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
		市町村・観光関連団体における観光危機管理意識の醸成を図り、各機関のBCP等の作成・見直しに寄与する。
今後の取り組み方針		
県内市町村や観光関連事業者の意識の高まりによって積極的な参加姿勢がみられる一方、対応力の底上げや危機発生時の具体イメージを想定するための取組を引き続き実施する。		

資金の流れ

(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	うち交付金充当額	うち県負担金	うち市町村負担金	その他	交付対象外経費
27,682	21,497	17,198	4,299	0	0	6,185



評価	点検項目	評価に関する説明
資金の 用途の 流れ、 費目、 評価	○ 支出先の選定方法は妥当か。	○本事業は、市町村、観光関係団体等と連携し官民一体となった観光危機管理体制の構築を図るものである。本事業を執行する上で、市町村や観光関連団体と横断的な連携を円滑に実施することができ、県の観光施策及び全県的な観光に関する情報を十分に把握しており、かつ公的な性質を持つ唯一の団体であるOCVBへの委託は妥当であった。
	○ 予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○事業当初の活動目標及び成果目標を達成しており、適切な予算規模であった。
	- 受益者との負担関係は妥当であるか。	○費目・使途については、委託料の確定時において支出等に関する書類により確認しており、適正であった。
	○ 費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

令和6年度沖縄振興特別推進交付金事業（県分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	142	Be.Okinawa多言語コンタクトセンター運営事業	新沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所（第4章）	3-(2)-ア-①			
				「安全・安心の島」の構築に向けた受入体制等の整備			
担当部課名	文化観光スポーツ部 観光振興課	事業実施（予定）年度	H24～R13 年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ-1-(1)		
事業内容	<p>・英語、中国語（簡・繁）、韓国語、タイ語にて、電話（ナビダイヤル、web電話、）メール、チャット（有人対応）各種SNS、チャットボット（自動応答）のチャネルを活用し、外国人観光客に対し情報提供や通訳サポートを行う。</p> <p>・Webサイトからの県内情報、よくある問い合わせFAQを発信し、インバウンドの県内周遊サポートを行う。</p>						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度（ 年度）						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他（ ）						
予算額・執行額【単位：千円】	予算の状況	(a) 当初予算額	R4年度	R4年度（繰越）	R5年度	R5年度（繰越）	R6年度
		(b) 予算現額	32,119		40,500		45,365
		(c) 増減額 (b-a)	32,646		40,500		45,365
		(d) 前年度繰越額	527	0	0	0	0
		A. 計 (b+d)	0	0	0		
		B. 執行済額	32,646	0	40,500	0	45,365
		うち交付金充当額	30,131		39,795		45,365
		C. 次年度繰越額	24,105		31,836		36,292
		執行率 (%) (B/A)	0		0	0	0
		執行率 (%) (B/A)	92.3%		98.3%		100.0%
予算の状況の説明	執行率は100%であり、計画的に執行できた。						
活動目標（指標）及び進捗状況	R6活動目標（指標）	進捗状況					
			R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	
	多言語コンタクトセンター対応件数(20%増)	目標	600件	720件	864件	1,036件	
		実績	141件	322件	757件	1,343件	
進捗状況説明	多言語コンタクトセンター対応件数について、目標値を超えることができた。						
成果目標（指標）及び達成状況	R6成果目標（指標）	基準値（〇〇年度）	R4年度	R5年度	R6年度	目標値（〇〇年度）	
		目標		80.0%	80.0%	80.0%	
	コンタクトセンター利用者の満足度80%以上	実績		80.0%	97.2%	96.0%	
		達成状況説明	多言語コンタクトセンター利用者に対しヒアリングを実施した結果、コンタクトセンター利用に「満足した」と回答した割合が目標80%に対し実績96%で、目標を達成することが出来た。				

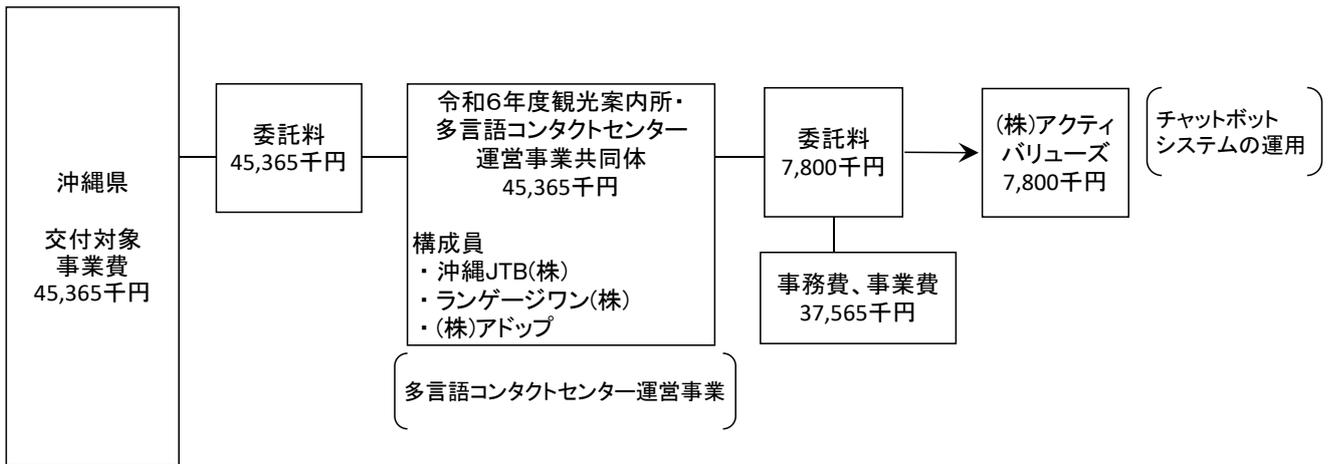
取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<p>需要の回復に伴い、問い合わせ件数が増加するとともに、観光客のニーズも多様化していることから、安全・安心確保のため、情報連携と対応が求められている。</p>	<p>Be.Okinawa多言語コンタクトセンターとインバウンド医療コンタクトセンターと統合し、窓口を一本化することで効率を図り、安全・安心な島の構築を図る。</p>

今後の取り組み方針

- ・次年度は、Be.Okinawa多言語コンタクトセンターとインバウンド医療コンタクトセンターと統合し、窓口を一本化することで効率を図る。
- ・引き続き、事業者等の外国語対応を補完する役割を果たす多言語コンタクトセンターの整備拡充を通して、外国人観光客の満足度向上を図る。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	うち交付金充当額	うち県負担金	うち市町村負担金	その他	交付対象外経費
45,365	45,365	36,292	9,073	0	0	0



資金の 使途の 流れ、 費目 ・ 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	<p>○各事業業務委託の委託先の選定については、事業内容に応じて企画提案選定を適切に実施し、適正に業者を選定した。</p> <p>○事業内容に見合う適正な予算規模であった。</p> <p>○費目・使途については、事業期間中及び完了時に証憑等の関係書類を検査し、適正であった。</p>
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

令和6年度沖縄振興特別推進交付金事業（県分）検証シート【公表用】

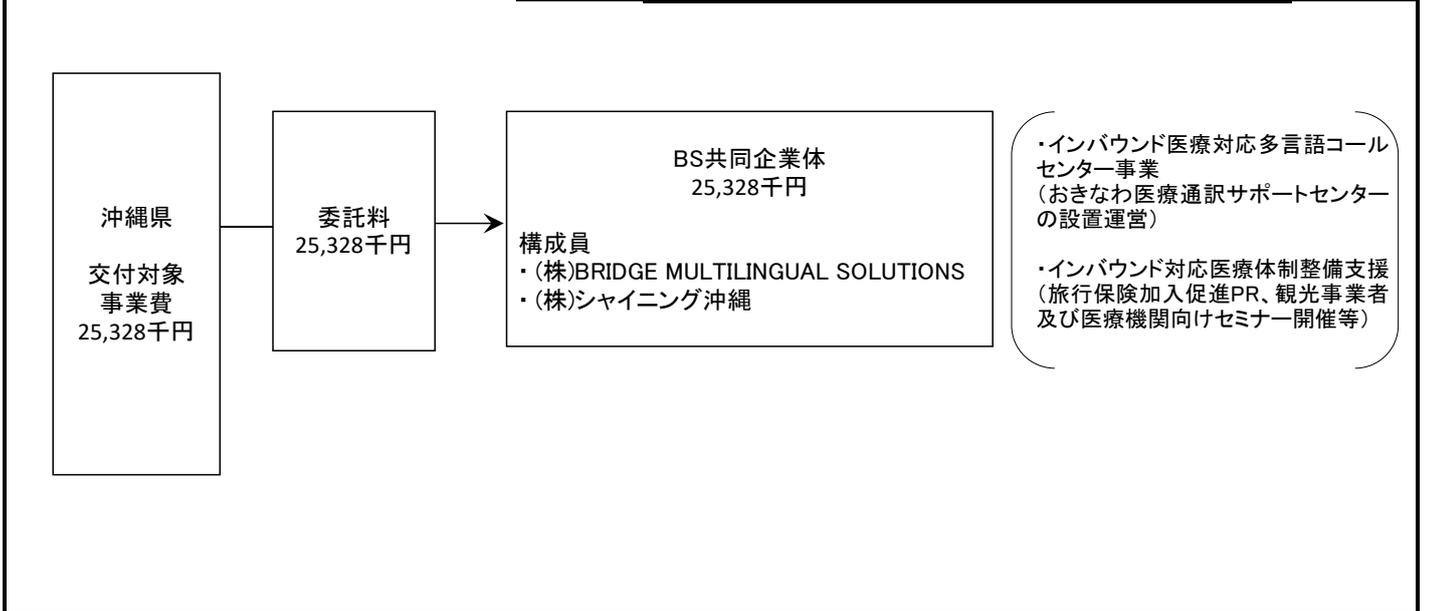
事業番号・事業名	143	インバウンド医療受入体制整備事業		新沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所（第4章）	3-(2)-ア-①			
担当部課名	文化観光スポーツ部 観光振興課	事業実施（予定）年度	R4～R13 年度	沖縄振興基本方針該当箇所	「安全・安心の島」の構築に向けた受入体制等の整備			
事業内容	外国人観光客が急な病気・ケガに見舞われた場合でも、安心して沖縄観光が楽しめるような受入環境を整備として、医療対応多言語コールセンターの設置や観光事業者向けの傷病者対応、保健衛生に関するセミナーを実施することで、「安全・安心な島」の構築を図る。							
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度（ 年度）							
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他（ ）							
予算額・執行額【単位：千円】	予算の状況	(a) 当初予算額	R4年度	R4年度（繰越）	R5年度	R5年度（繰越）	R6年度	
		(b) 予算現額	25,357		27,822		27,263	
		(c) 増減額 (b-a)	25,357	0	27,822	0	27,263	
		(d) 前年度繰越額	0	0	0	0	0	
		A. 計 (b+d)	0	0				
		B. 執行済額	25,357	0	27,822	0	27,263	
		うち交付金充当額	25,291		27,679		25,328	
		C. 次年度繰越額	20,233		22,143		20,262	
		執行率 (%) (B/A)		99.7%		99.5%		92.9%
		予算の状況の説明	執行率は92.9%であり、主に旅費の執行残が発生したことによるものである。					
活動目標（指標）及び進捗状況	R6活動目標（指標）		進捗状況					
			R3年度	R4年度	R5年度	R6年度		
	インバウンド対応医療コールセンターにおける応答率90%以上		目標	90.0%	90.0%	90.0%		
			実績	100%	100%	97.4%		
進捗状況説明	・インバウンド対応医療コールセンター事業としておきなわ医療通訳サポートセンターを設置し、応答率は97.4%で、目標値を達成した。							
成果目標（指標）及び達成状況	R6成果目標（指標）		基準値（〇〇年度）	R4年度	R5年度	R6年度	目標値（〇〇年度）	
	インバウンド対応医療コールセンター利用者へのアンケートにより、外国人観光客への医療対応の役に立ったか（80%以上）を含め、当該事業のあり方をアンケートにより検証する。		目標	80.0%	80.0%	80.0%		
			実績	83.3%	83.0%	83.4%		
	達成状況説明	医療機関向けに、本事業のコールセンターについてアンケートを行ったところ、「大変有用であった」が66.7%、「有用であった」が16.7%との回答があった。併せて、83.4%が「有用であった」との回答があり、目標を達成した。						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<ul style="list-style-type: none"> クルーズ船や航空便数の増加に伴い、外国人観光客が多く訪れるようになっているが、受入れに関しては、十分な体制を構築できていないと言えない。 過去の課題を踏まえ、医療関係者から、観光関係者と連携した医療機関の受入体制構築に向けた需要が高まっている。 	<ul style="list-style-type: none"> 医療機関及び観光事業者向けセミナーを実施するにあたり、外国人患者の受入れ状況や院内体制等について、参加者と共有することができた。セミナーを通して、「アーカイブ配信」希望の御意見を頂いたので、検討する。 インバウンド対応医療コールセンターとBe.Okinawa多言語コンタクトセンターを統合し、窓口を一本化することで効率を図り、安全・安心な島の構築を図る。

今後の取り組み方針
<ul style="list-style-type: none"> インバウンド対応医療コールセンターとBe.Okinawa多言語コンタクトセンターを統合し、窓口を一本化することで効率を図る。 セミナーや意見交換会を実施する際、医療機関関係者や観光事業者のみならず、ホテル関係や消防関係の従事者にも参加していただく呼びかけを検討する。また、セミナー等についてはアーカイブ配信を検討する。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	うち交付金充当額	うち県負担金	うち市町村負担金	その他	交付対象外経費
25,328	25,328	20,262	5,066	0	0	0



資金の流 使途の点 検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
資金の流 使途の点 検評価	○	支出先の選定方法は妥当か。	<ul style="list-style-type: none"> ○各事業業務委託の委託先の選定については、事業内容に応じて企画提案選定を適切に実施し、適正に業者を選定した。 ○事業内容に見合う適正な予算規模であった。 ○費目・使途については、事業期間中及び完了時に証憑等の関係書類を検査し、適正であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

令和6年度沖縄振興特別推進交付金事業（県分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	169	沖縄フラワークリエイション事業		新沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所（第4章）	3-(2)-ア-②		
					快適で魅力ある観光まちづくりの推進		
担当部課名	土木建築部 道路管理課	事業実施（予定）年度	H24～R13 年度		沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ-1-(1)	
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> 観光地へアクセスする道路のプランター、植樹樹への植栽及び重点管理。 街路樹データベースの構築。 						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度（ 年度）						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他（ ）						
予算額・執行額【単位：千円】	予算の状況	(a) 当初予算額	636,533		608,274		563,827
		(b) 予算現額	636,533		608,274		563,827
		(c) 増減額 (b-a)	0	0	0	0	0
		(d) 前年度繰越額	0	11,285	0	0	0
		A. 計 (b+d)	636,533	11,285	608,274	0	563,827
	B. 執行済額	うち交付金充当額	499,591	8,228	486,558	0	451,061
		C. 次年度繰越額	11,285	0	0	0	0
		執行率（%）(B/A)	98.1%	91.1%	100.0%		100.0%
	予算の状況の説明	執行率100%であり、計画的に執行できた。					
	活動目標（指標）及び進捗状況	R6活動目標（指標）		進捗状況			
		R3年度	R4年度	R5年度	R6年度		
観光地へアクセスする道路への緑化重点管理路線		目標	41路線	41路線	41路線	43路線	
		実績	41路線	41路線	41路線	43路線	
街路樹マップシステムの構築		目標	-	-	-	実施	
		実績	-	-	-	実施	
進捗状況説明	令和6年度は、目標の43路線でコンテナの飾花等の植栽管理業務を実施した。街路樹マップシステムについては、構築のための調整を進めている。						
成果目標（指標）及び達成状況	R6成果目標（指標）		基準値（〇〇年度）	R4年度	R5年度	R6年度	目標値（〇〇年度）
	観光地への主要道路としてふさわしい道路景観であると感じるかを含め（80%以上）、当該事業のあり方をアンケート調査により検証する	目標	-	80%	80%	80%	
		実績	-	89%	90%	93%	
	達成状況説明	国際通りや県庁前広場で無作為に抽出した観光客に対し、観光地への主要道路としてふさわしい道路景観であると感じるか（80%以上）をアンケートで検証し、理解が深まったと回答した者が93%となり、目標を達成した。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<p>定期的なパトロール等により生育・開花の状況を継続的に確認し、植栽箇所の環境条件に応じた適切な花木や草花を各季節で開花できるように選定や管理方法、育成点検、灌水手法について検証し、各土木事務所や造園業者と連携して改善策を検討しながら、品質確保と向上を図る必要がある。</p>	<p>観光客に対する効果を高めるとともに、管理の品質向上を図るため、造園業者等と意見交換を行い、景観の向上に取り組む。</p>

今後の取り組み方針

年間を通して、草花等の生育状況を継続的に確認し、植栽箇所の環境条件に応じた適切な花木や草花、防草効果が高く、沿道景観向上に資するアロバシー植物等の植栽を行い、良好な沿道景観の向上を図る。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	うち交付金充当額	うち県負担金	うち市町村負担金	その他	交付対象外経費
563,827	563,827	451,061	112,766	0	0	0

<p style="text-align: center;">沖縄県</p> <p style="text-align: center;">交付対象事業費 563,827千円</p> <p style="text-align: center;">委託料 563,827千円</p>	委託料・支出先リスト	支 出 先	契約業務名及び業務概要	支 出 額 (千円) ※標準費ベース	うち交付金充当額	入札者数	落札率	
	1	(有) 大和緑建	契約業務名 業務概要	北部管内フラワークリエイション業務委託 (R6-1) 植栽管理業務	30,804	24,643		
	2	(有) ナカムラ造園土木	契約業務名 業務概要	北部管内フラワークリエイション業務委託 (R6-2) 植栽管理業務	27,106	21,685		
	3	(株) 仲備造園土木	契約業務名 業務概要	北部管内フラワークリエイション業務委託 (R6-3) 植栽管理業務	25,744	20,595		
	4	社会福祉法人 豊鶴会	契約業務名 業務概要	北部管内フラワークリエイション業務委託 (R6-4) 植栽管理業務	6,338	5,071		
	5	金城グリーン (株)	契約業務名 業務概要	中部管内道路修景業務委託 (R6-1) 植栽管理業務	29,281	23,425		
	6	(株) 緑一	契約業務名 業務概要	中部管内道路修景業務委託 (R6-2) 植栽管理業務	38,419	30,735		
	7	(株) 沖縄ガーデン	契約業務名 業務概要	中部管内道路修景業務委託 (R6-3) 植栽管理業務	29,447	23,557		
	8	(有) グリーンスタッフ	契約業務名 業務概要	中部管内道路修景業務委託 (R6-4) 植栽管理業務	39,244	31,395		
	9	一般財団法人 沖縄県セルフセンター	契約業務名 業務概要	フラワークリエイション業務委託 (南部管内R6-1) 植栽管理業務	13,981	11,185		
	10	(有) オキケン開発	契約業務名 業務概要	フラワークリエイション業務委託 (南部管内R6-2) 植栽管理業務	31,924	25,539		
	11	(有) 西崎緑地開発	契約業務名 業務概要	フラワークリエイション業務委託 (南部管内R6-3) 植栽管理業務	30,006	24,005		
	12	(株) ヨナハラ造園	契約業務名 業務概要	フラワークリエイション業務委託 (南部管内R6-4) 植栽管理業務	26,445	22,756		
	13	(株) 諸見里造園土木	契約業務名 業務概要	フラワークリエイション業務委託 (南部管内R6-5) 植栽管理業務	33,471	26,777		
	14	社会福祉法人 みやこ福祉会	契約業務名 業務概要	宮古管内道路修景業務委託 (R6-1) 植栽管理業務	4,169	3,335		
	15	(有) 大森開発	契約業務名 業務概要	宮古管内道路修景業務委託 (R6-3) 植栽管理業務	27,160	21,728		
	16	(有) 大森開発	契約業務名 業務概要	宮古管内道路修景業務委託 (R6-4) 植栽管理業務	25,035	20,028		
	17	(株) 樹栄	契約業務名 業務概要	宮古管内道路修景業務委託 (R6-5) 植栽管理業務	21,246	16,997		
	18	(有) 大森開発	契約業務名 業務概要	宮古管内道路修景業務委託 (R6-6) 植栽管理業務	22,391	17,913		
	19	(有) 平和建設	契約業務名 業務概要	石垣島・西表島管内道路修景業務委託 (R6) 植栽管理業務	19,765	15,812		
	20	(株) ガーデン・なみき	契約業務名 業務概要	石垣島管内道路修景業務委託 (R6-1) 植栽管理業務	16,875	13,500		
	21	(有) やまかわ	契約業務名 業務概要	石垣島管内道路修景業務委託 (R6-2) 植栽管理業務	28,811	23,049		
	22	(株) 龍生造園	契約業務名 業務概要	石垣島管内道路修景業務委託 (R6-3) 植栽管理業務	34,165	27,332		
	23							

資金の流れ、費目	評価	点検項目	評価に関する説明
○		支出先の選定方法は妥当か。	<p>○委託事業者は指名競争入札により実績を勘案した上で選定しており、妥当であったと考えている。 なお、随意契約による業務は、シルバー人材等の活用によるもので、軽易な業務となっている。 ○費目・用途については事業目的達成の観点から適正であった。</p>
○		予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
-		受益者との負担関係は妥当であるか。	
○		費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

令和6年度沖縄振興特別推進交付金事業（県分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	140	沖縄観光コンテンツ開発支援事業	新沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所 (第4章)	3-(2)-ウ-①			
				沖縄のソフトパワーを生かした ツーリズムの推進			
担当部課名	文化観光スポーツ部 観光振興課	事業実施 (予定)年度	H30~R13 年度	沖縄振興基本方針 該当箇所	Ⅲ-1-(1)		
事業内容	世界から選ばれる持続可能な観光地の形成を目指し、沖縄の地域資源(自然、文化、歴史等)を活用した多彩で質の高い観光コンテンツ開発に取り組む民間事業者等に対し、支援を行う。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】		R4年度	R4年度(繰越)	R5年度	R5年度(繰越)	R6年度	
	予算 の 状 況	(a) 当初予算額	121,187		100,037		92,025
		(b) 予算現額	121,187		100,037		92,025
		(c) 増減額(b-a)	0	0	0	0	0
		(d) 前年度繰越額					
		A. 計(b+d)	121,187	0	100,037	0	92,025
	B. 執行済額		105,607		83,520		83,668
	うち交付金充当額		84,485		66,816		66,935
	C. 次年度繰越額				0	0	0
	執行率(%) (B/A)		87.1%		83.5%		90.9%
予算の状況の説明		執行率は90.9%であり、不用の主な理由は、沖縄観光コンテンツ開発支援事業補助金における執行残。					
活動目標 (指標) 及び進捗状況	R6活動目標(指標)		進捗状況				
			R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	
	観光商品開発支援件数		目標	8件	10件	10件	10件
			実績	8件	15件	11件	11件
進捗 状 況 説 明	10件を目標とし、結果として11件の支援となった。						
成果目標 (指標) 及び達成状況	R6成果目標(指標)		基準値 (〇〇年度)	R4年度	R5年度	R6年度	目標値 (〇〇年度)
	開発した観光コンテンツ利用者数		目標	10,000人			
			実績	11,134人			
	R4年度に支援した事業の自走化率		目標		60.0%		
			実績		60.0%		
	R5年度に支援した事業の自走化率		目標			60.0%	
			実績			90.9%	
【R7成果目標】 R6年度に支援した事業の自走化率		目標				60.0%	
達 成 状 況 説 明	R5年度に支援した事業の自走化率90.9%となり、目標を達成した。						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	質の高い事業にするため、観光コンテンツの開発支援だけでなく、開発後の補助事業者の自走化に向け、支援内容及びプロモーション方法等の適宜修正していく必要がある。	補助事業で支援した商品が自走化に至っていない場合、何が要因になっているのか調査・分析をする必要がある。また、過去に支援した補助事業も含め、商品販売促進のための事業者間連携の可能性等についても検討する必要がある。
今後の取り組み方針		
補助が終了した補助事業者に対しフォローアップ調査を行い、自走化に関する分析を行う。分析結果を基に、適宜改善アドバイスや事業者間のネットワーク構築の機会提供、商談会の開催、旅行博への共同出展等を行い、沖縄観光コンテンツとして東で売り出すことによる販売促進や商品磨き上げ支援をアドバイザーと共に進めていく。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)												
総事業費	交付対象事業費	うち交付金充当額	うち県負担金	うち市町村負担金	その他	交付対象外経費						
83,668	83,668	66,935	16,733	0	0	0						
<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 20%;"> <p style="text-align: center;">沖縄県 交付対象事業 83,668千円</p> </div> <div style="width: 60%;"> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 30%;"> <p style="text-align: center;">委託料 21,541千円</p> </td> <td style="width: 70%;"> <p style="text-align: center;">(株)アール・ピー・アイ 21,541千円</p> <p style="font-size: small;">(下記(1)~(3)に係る委託業務 (1) 補助対象事業のブラッシュアップ (2) 補助対象事業支援委員会の設置・運営 (3) 補助対象事業のハンズオン支援)</p> </td> </tr> <tr> <td style="width: 30%;"> <p style="text-align: center;">補助金 62,126千円</p> </td> <td style="width: 70%;"> <ul style="list-style-type: none"> ・一般社団法人沖縄市観光物産振興協会 5,674千円 ・(株)地域ブランディング研究所 6,415千円 ・伊平屋新観光コンテンツ開発事業共同体 3,968千円 ・(株)ファンファーレ・ジャパン 8,776千円 ・FM久米島(株) 8,336千円 ・「沖縄の全有人離島をビーチクリーンで制覇する！」企業共同体 2,758千円 ・(株)ホット沖縄総合研究所 8,033千円 ・もとぶ観光コンソーシアム 5,129千円 ・沖縄県酒造組合 2,666千円 ・(株)セルリアンブルー 5,362千円 ・特定非営利活動法人うみもりそら 5,009千円 <p style="text-align: center;">(新たな観光コンテンツ開発の経費に係る補助)</p> </td> </tr> <tr> <td style="width: 30%;"> <p style="text-align: center;">事務費 1千円</p> <p style="text-align: center;">(旅費)</p> </td> <td style="width: 70%;"></td> </tr> </table> </div> </div>							<p style="text-align: center;">委託料 21,541千円</p>	<p style="text-align: center;">(株)アール・ピー・アイ 21,541千円</p> <p style="font-size: small;">(下記(1)~(3)に係る委託業務 (1) 補助対象事業のブラッシュアップ (2) 補助対象事業支援委員会の設置・運営 (3) 補助対象事業のハンズオン支援)</p>	<p style="text-align: center;">補助金 62,126千円</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・一般社団法人沖縄市観光物産振興協会 5,674千円 ・(株)地域ブランディング研究所 6,415千円 ・伊平屋新観光コンテンツ開発事業共同体 3,968千円 ・(株)ファンファーレ・ジャパン 8,776千円 ・FM久米島(株) 8,336千円 ・「沖縄の全有人離島をビーチクリーンで制覇する！」企業共同体 2,758千円 ・(株)ホット沖縄総合研究所 8,033千円 ・もとぶ観光コンソーシアム 5,129千円 ・沖縄県酒造組合 2,666千円 ・(株)セルリアンブルー 5,362千円 ・特定非営利活動法人うみもりそら 5,009千円 <p style="text-align: center;">(新たな観光コンテンツ開発の経費に係る補助)</p>	<p style="text-align: center;">事務費 1千円</p> <p style="text-align: center;">(旅費)</p>	
<p style="text-align: center;">委託料 21,541千円</p>	<p style="text-align: center;">(株)アール・ピー・アイ 21,541千円</p> <p style="font-size: small;">(下記(1)~(3)に係る委託業務 (1) 補助対象事業のブラッシュアップ (2) 補助対象事業支援委員会の設置・運営 (3) 補助対象事業のハンズオン支援)</p>											
<p style="text-align: center;">補助金 62,126千円</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・一般社団法人沖縄市観光物産振興協会 5,674千円 ・(株)地域ブランディング研究所 6,415千円 ・伊平屋新観光コンテンツ開発事業共同体 3,968千円 ・(株)ファンファーレ・ジャパン 8,776千円 ・FM久米島(株) 8,336千円 ・「沖縄の全有人離島をビーチクリーンで制覇する！」企業共同体 2,758千円 ・(株)ホット沖縄総合研究所 8,033千円 ・もとぶ観光コンソーシアム 5,129千円 ・沖縄県酒造組合 2,666千円 ・(株)セルリアンブルー 5,362千円 ・特定非営利活動法人うみもりそら 5,009千円 <p style="text-align: center;">(新たな観光コンテンツ開発の経費に係る補助)</p>											
<p style="text-align: center;">事務費 1千円</p> <p style="text-align: center;">(旅費)</p>												

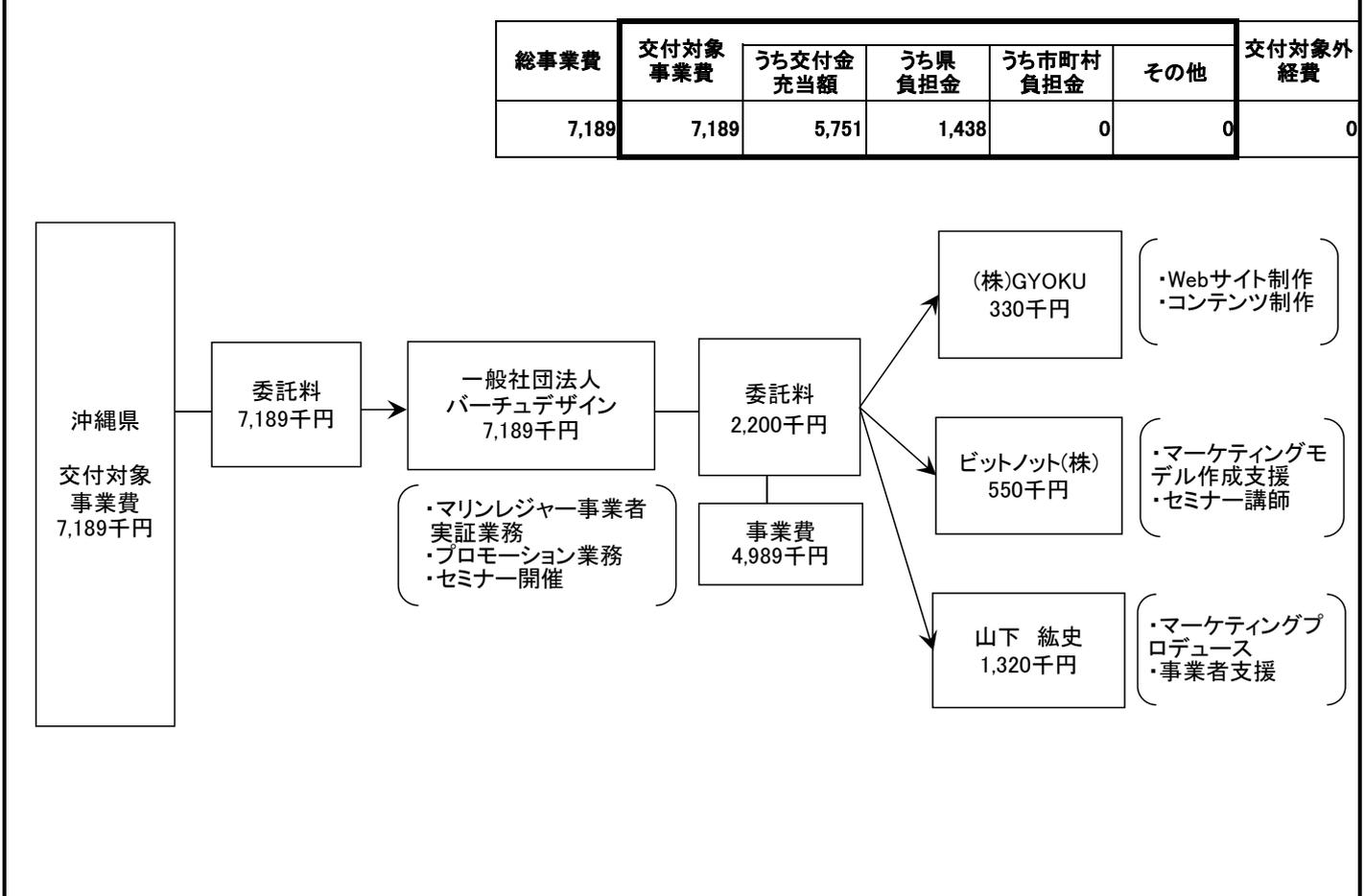
資金の流 使途の点 検・費目	評価	点検項目	評価に関する説明
資金の流 使途の点 検・費目	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託事業者及び補助事業者は公募型プロポーザル方式により企業組織、実績、知識、計画等を勘案した上で選定しており、妥当であった。 ○費目・使途については、事業目的達成の観点から必要なものか等について額確定時に支出等関係書類により適正か確認した。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

令和6年度沖縄振興特別推進交付金事業（県分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	145	マリンレジャー魅力向上促進事業	新沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所 (第4章)	3-(2)-ウ-①			
				沖縄のソフトパワーを生かした ツーリズムの推進			
担当部課名	文化観光スポーツ部 観光振興課	事業実施 (予定)年度	R4~R6	年度	新沖縄振興基本方針 該当箇所	Ⅲ-1-(1)	
事業内容	セミナーを通じて沖縄のマリンレジャー事業者が観光客に提供できる魅力や価値について、磨き上げを行うとともに、プロモーションを通じて、観光客がマリンレジャー事業者の提供する安全・安心や質の高いサービス等を選ぶことができるよう取り組む。 ①マリンレジャー市場結果の分析及び周知啓発(プロモーション等) ②マリンレジャー事業者実証業務 ③セミナーの実施						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】	予算の状況	(a) 当初予算額	R4年度	R4年度(繰越)	R5年度	R5年度(繰越)	R6年度
		(b) 予算現額	8,152		7,337		7,189
		(c) 増減額(b-a)	8,152	0	7,337	0	7,189
		(d) 前年度繰越額	0	0	0	0	0
		A. 計(b+d)	8,152	0	7,337	0	7,189
		B. 執行済額	7,741		7,330		7,189
		うち交付金充当額	6,193		5,864		5,751
		C. 次年度繰越額	0		0	0	0
		執行率(%) (B/A)	95.0%		99.9%		100.0%
		予算の状況の説明	・執行率は100%であり、計画的に執行できた。				
活動目標(指標)及び進捗状況	R6活動目標(指標)		進捗状況				
	①ファミトリップ等の実施	目標	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	
		実績				10,000	
	②WEBサイトの閲覧数向上へ向けた等広告実施	目標			3回	1回	
		実績			3回	1回	
	③セミナー参加事業者数	目標		100事業者		100事業者	
		実績		184事業者		34事業者	
進捗状況説明	①目標数のインプレッションを達成できなかった。要因として、予算・契約期間を鑑み、実効性に乏しいため、令和5年度調査結果等を踏まえて高付加価値なマリンレジャーサービスの実証事業へ変更した。 ②プロモーションの実施は、観光客に対して優良事業者が選ばれる考え方について情報発信等を行うことで、目標値を達成できた。 ③目標値のセミナー参加者数を達成できなかった。要因として、セミナー開催を前年度の2回から1回に減らしたこと。また、周知方法については費用・紙削減の観点から郵送での周知を行わないこととしたが、そのことで参加者が減ったことが要因と考えられる。						
成果目標(指標)及び達成状況	R6成果目標(指標)		基準値(〇〇年度)	R4年度	R5年度	R6年度	目標値(〇〇年度)
	観光客及び事業者の満足度向上	目標		80%	80%	80%	
		実績		83%	90%	65%	
	達成状況説明	成果目標である観光客及び事業者の満足度向上については、実績が65%で未達成となっている。 達成できなかった主な理由は、開催したセミナーにおいて、オンライン参加者への音声がしばらく聞こえない状態が続いていたことやオンライン参加者のURL発行が当日となったことで参加者の満足度に影響したことによるものである。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<p>これまでの成果を踏まえ、計画的な取組を実施するよう関係者間で協議する必要がある。</p> <p>活動目標値を達成できなかった要因として、実施回数・周知方法を改善する必要がある。</p>	<p>関係者との密な連携体制がとれるよう、定期的な協議の場を設ける等成果を踏まえた取組実現に向けて協議を重ねる。</p> <p>セミナー開催の周知広報を郵送により事業者あて案内するとともに、事業者が参加しやすい11月～1月にセミナー実施を検討する。</p>
今後の取り組み方針		
<p>マリンレジャー魅力向上促進事業は令和6年度にて事業が終了するが、離島の持続可能な観光を推進するための取組は継続して推進していく。</p>		

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)



資金の用途の点検・評価	評価	点検項目	評価に関する説明
資金の用途の点検・評価	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託事業者は公募型プロポーザル方式により企業組織、実績、知識、計画等を勘案した上で選定しており、妥当であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	○費目・用途については、事業目的達成の観点から必要なものか等について額確定時に支出等関係書類により適正であることを確認した。
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

令和6年度沖縄振興特別推進交付金事業（県分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	146	戦略的クルーズ観光推進事業	新沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所 (第4章)	3-(2)-ウ-③					
担当部課名	文化観光スポーツ部 観光振興課	事業実施 (予定)年度	H24～R13 年度	沖縄振興基本方針 該当箇所	質の高いクルーズ観光の推進 Ⅲ-1-(1)				
事業内容	質の高いクルーズ観光を推進するため、展示・商談会への出展、プロモーション、クルーズ船社等への誘致活動、寄港促進支援メニューを活用し、着地型観光の促進、周遊及び発着クルーズを戦略的に誘致に取り組むとともに、地域の受入体制の再構築・強化を図り、持続可能なクルーズ船の受入環境を構築する。								
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)								
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()								
予算額・執行額 【単位:千円】	予算 の 状 況	(a) 当初予算額	37,000	R4年度(繰越)		50,510	R5年度(繰越)		45,300
		(b) 予算現額	37,000			50,510		45,300	
		(c) 増減額(b-a)	0	0	0	0			
		(d) 前年度繰越額	0						
		A. 計(b+d)	37,000	0	50,510	0	45,300		
		B. 執行済額	36,423		49,774	44,960			
		うち交付金充当額	29,138		35,653	35,968			
		C. 次年度繰越額	0		0	0			
		執行率(%) (B/A)	98.4%		98.5%	99.2%			
		予算の状況の説明	執行率は99.2%であり、概ね計画的に実行できた。						
活動目標(指標)及び進捗状況	R6活動目標(指標)		進捗状況						
			R3年度	R4年度	R5年度	R6年度			
	プロモーション実施地域数		目標	5地域	5地域	5地域	5地域		
			実績	8地域	5地域	5地域	5地域		
進捗状況説明	<ul style="list-style-type: none"> ・本格的にクルーズが再開している台湾、北米、欧州、東南アジア、中国に加えて日本でもPRを行った。邦船による沖縄発着の定着化も実現できた。 ・昨年に引き続き、外国籍の大型クルーズの沖縄発着クルーズが実現できた。 								
成果目標(指標)及び達成状況	R6成果目標(指標)		基準値 (R1年度)	R4年度	R5年度	R6年度	目標値 (R13年度)		
	プレミアム/ラグジュアリークラスのクルーズ船の寄港回数の割合(暦年)		目標	40.0%	40.0%	41.6%	47.2%		
			実績	31.60%	100.0%	60.5%	35.5%		
	【R7成果目標】 ラグジュアリー・プレミアムクラスのクルーズ船、フライ・アンド・クルーズの寄港回数(暦年)		目標				107回		
達成状況説明	<ul style="list-style-type: none"> ・ラグジュアリーやプレミアムの寄港回数は増えているものの、中国からのクルーズ船が再開するなど、近年カジュアル船が増えていることから、目標とする41.6%に届かなかった。 ・令和7年度からの成果目標は、より事業成果がわかるラグジュアリーやプレミアムクルーズ及びフライ・アンド・クルーズの寄港回数とする。 								

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<ul style="list-style-type: none"> 令和6年からは中国籍船による国際クルーズが再開され、大型クルーズ(カジュアル船)の寄港が増加している。那覇港などに大型クルーズが同時寄港もあり、二次交通の対応なども苦慮している。 コロナ禍からの急激な回復により、貸切バスやタクシーなどの二次交通のインフラが大きな影響を受けており、受入体制に課題が残っている。特に、離島や本部港などの受入が脆弱な場所は市民生活にも一部影響が出ている。 船舶代理店などの情報収集が難しく、情報が得られない場合、乗船者数に合わせて対応が難しいことも課題の一つとなっている。 	<ul style="list-style-type: none"> クルーズ船の寄港に関係する港湾、観光、二次交通の受入団体の体制の再構築を図りながら、受入キャパシティを段階的に高めていく必要がある。 寄港が那覇港に集中しているため、二次交通、経済波及効果的にも寄港地の分散化が必要となる。また、離島や本部地域では、受入体制の強化が必要となる。 クルーズ船の受入団体の体制強化を図ると同時に、船舶代理店からの情報収集が得られなければ、乗船者に合わせた二次交通の手配が出来ないため、早めの情報収集に取り組む。

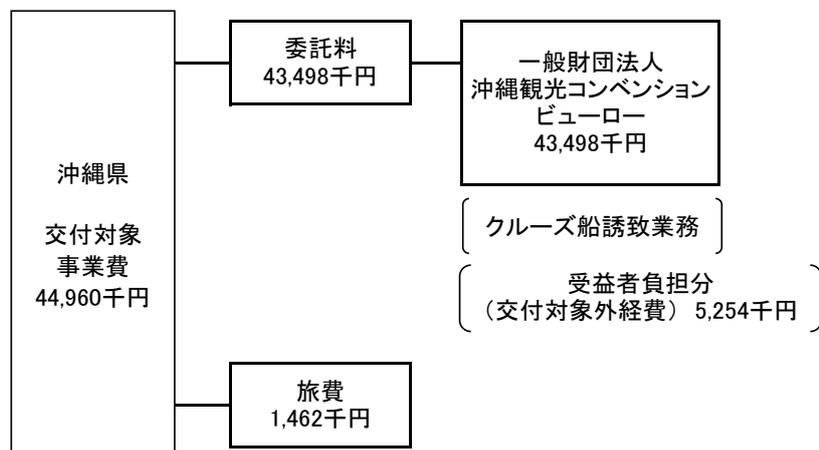
今後の取り組み方針

- ・新・沖縄21世紀ビジョン基本計画において、質の高いクルーズ観光の推進を掲げており、寄港地を中心とした着地型観光、離島周辺によるエクスペディションクルーズ、沖縄の港湾を発着港とするフライ・アンド・クルーズを推進することにより、地域経済への波及効果を高める取組みを行うこととしている。
- ・このため、各地域のクルーズ促進協議会等との連携強化を図り、受入キャパシティに応じたクルーズ船の誘致、寄港地観光・コンテンツの提案など、誘致・受入にかかる課題の共有や解決に向けて、官民一体となった取組みを引き続き推進する。
- ・比較的富裕層も多く乗船者数も少なく、二次交通対応も可能となるラグジュアリー船やプレミアム船などに選ばれる寄港地としての魅力を発信していくとともに、継続的な旅行博などへ出展を行い営業活動を実施していく。

資金の流れ

(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	うち交付金充当額	うち県負担金	うち市町村負担金	その他	交付対象外経費
50,214	44,960	35,968	8,992	0	0	5,254



資金の流れ、費目	評価	点検項目	評価に関する説明
資金の流れ、費目	○	支出先の選定方法は妥当か。	○本事業は観光関係業界等と連携を図り官民一体となってクルーズ船の誘致・受入れの取組をしていくものであるため、公的性質を持ち、かつ、県の観光施策及び全県的な観光に関する情報を十分に把握している唯一の団体であるOCVBへの委託は妥当であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	○費目・使途については委託料の確定時において支出等に関する書類により確認しており、適正であった。
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

令和6年度沖縄振興特別推進交付金事業（県分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	147	沖縄観光グローバル事業	新沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所 (第4章)	3-(2)-ウ-②			
				多様な市場における沖縄観光の 価値を訴求する誘客活動の展 開			
担当部課名	文化観光スポーツ部	観光振興課	事業実施 (予定)年度	H24~R13	年度	沖縄振興基本方針 該当箇所	Ⅲ-1-(1)
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ● 海外からの直行定期便の新規就航を図るため、航空会社商談会への出展や、新規就航路線の運航初期の搭乗率安定化のための支援を行う。 ● 各海外市場から外国人観光客を誘客するため、海外旅行博に出展、航空会社や旅行会社と連携プロモーションを実施する。 ● 外国人観光客を誘客するため、沖縄観光ブランドの動画制作及び配信を行う。 ● 外国人観光客を誘客するため、WEBやSNSにて沖縄観光情報を多言語で発信する。 ● 海外富裕層の沖縄誘客増加を図るため、富裕層旅行会社の招聘や情報媒体への広告出稿、海外富裕層商談会への出展を行う。 						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度 (年度)						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他 ()						
予算額・ 執行額 【単位:千円】	予算 の 状 況		R4年度	R4年度(繰越)	R5年度	R5年度(繰越)	R6年度
		(a) 当初予算額	333,912	0	643,185	0	530,143
		(b) 予算現額	383,955	0	643,185	0	530,143
		(c) 増減額(b-a)	50,043	0	0	0	0
		(d) 前年度繰越額	0	0	0	0	0
		A. 計(b+d)	383,955	0	643,185	0	530,143
		B. 執行済額	373,799	0	608,118	0	512,008
		うち交付金充当額	299,039	0	474,026	0	409,607
		C. 次年度繰越額	0	0	0	0	0
		執行率(%) (B/A)	97.4%		94.5%		96.6%
予算の状況の説明	・執行率は96.6%であり、概ね計画的に執行できた。						
活動目標 (指標) 及び進捗状況	R6活動目標(指標)		進捗状況				
			R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	
	① 海外路線誘致活動強化事業 ● 航空会社との面談・交渉回数	目標	—	5件	5件	5件	
		実績	9件	15件	15件	15件	
	② 国際チャーター便包括支援事業 ● チャーター便催行支援便数(便数) ● チャーター地上ハンドリング支援(便数)	目標	3便・3便	1便・1便	2便・2便	2便・2便	
		実績	0便・0便	0便・0便	2便・2便	0便・0便	
	③ 定期便就航促進・活性化支援事業 ● 新規定期便就航支援(路線数) ● 新規定期便地上ハンドリング支援(路線数)	目標	1路線	1路線	2件・2件	3件・3件	
		実績	0路線	0路線	1件・1件	2件・2件	
	④ 沖縄国際航空路線リバイバル事業 ● 運航再開時支援(件数) ● 地上ハンドリング支援(件数)	目標	—	10件	2件・2件	2件・2件	
		実績	—	23件	未実施	未実施	
⑤ 海外潜在市場活性化事業 ● プロモーションの実施	目標	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所		
	実績	0箇所	0箇所	0箇所	0箇所		
⑥ 海外新規市場開拓事業 ● プロモーション実施箇所数	目標	14箇所	8箇所	7箇所	5箇所		
	実績	14箇所	8箇所	11箇所	7箇所		
⑦ 海外重点市場誘致強化事業 ● プロモーション実施箇所数	目標	14箇所	6箇所	6箇所	4箇所		
	実績	6箇所	7箇所	7箇所	4箇所		
⑧ 沖縄観光ブランド戦略推進事業 ● ブランディングの展開地域	目標	SNS発信10地域	14か国・地域	14か国・地域	14か国・地域		
	実績	17地域	28か国・地域	5か国	5か国		

活動目標 (指標) 及び進捗状況	⑨ 海外コンテンツマーケティング事業 ● サイトアクセス数、SNSアクセス数	目 標	サイトアクセス数: 4,892,000件 SNSアクセス数: 1,871,000件	サイトアクセス数: 4,892,000件 SNSアクセス数: 1,871,000件	サイトアクセス数: 4,892,000件 SNSアクセス数: 1,871,000件	サイトアクセス数: 4,892,000件 SNSアクセス数: 1,871,000件	
		実 績	サイトアクセス数: 1,239,869件 SNSアクセス数: 1,160,818件	サイトアクセス数: 1,911,136件 SNSアクセス数: 1,575,601件	サイトアクセス数: 2,801,891件 SNSアクセス数: 5,756,522件	サイトアクセス数: 3,596,327件 SNSアクセス数: 12,096,923件	
	⑩ 沖縄国際観光イノベーション事業 ● キックオフプロジェクトの実施 ● 航空会社連携プロモーションの実施	目 標	連携プロモーションの実施	連携プロモーションの実施	キックオフプロジェクト1箇所	・キックオフプロジェクト1箇所 ・海外空港との連携プロモーション	
		実 績	2社	未実施	未実施	1件	
	⑪ 海外富裕層向けプロモーション事業 ● 海外富裕層旅行会社の招聘実施 ● 海外富裕層商談会への出展	目 標	1件/1回	1件/1回	1件/1回	1件/1回	
		実 績	2件/2回	2件/1回	2件/1回	1件/1回	
進捗状況説明	<p>① 重点(台湾・韓国・中国及び香港)・戦略開拓市場(ASEAN市場)を中心に航空会社との面談・交渉を実施し、目標を達成した。</p> <p>② 国際チャーター便に関して、当初インセンティブ案件として想定していた航空会社からの見送りにより実施なし。</p> <p>③ 定期便就航に向けて目標3社中2社に支援を実施した。想定していたもう1社からの申請がなく、実施見送りとなった。</p> <p>④ 沖縄国際航空路線リバイバル事業は、新型コロナウイルス感染拡大を理由とする運休からの復便支援を目的としていたが、令和6年度末時点では各市場における沖縄観光需要や航空会社における採算性を踏まえた自発的な就航判断がなされているため、令和5年度に続き、6年度も未実施(令和7年度以降廃止)。</p> <p>⑤・⑥・⑦ 海外潜在市場(インド・北欧等)については、人員・予算等が限られる中で効率的な執行を図るため、潜在市場におけるプロモーションは見送りとなったが、重点市場及び新規開拓市場における事業は目標を達成した。</p> <p>⑧ 人員・予算等が限られる中で効率的な執行を図るため、展開地域を5か国に絞った。</p> <p>⑨ 主にSNSでのアクセス需要が多く、SNSアクセス数は目標達成したが、サイトアクセス数は達成できなかった。</p> <p>⑩ 当初予定していた海外空港との連携が進み、目標を達成することができた。</p> <p>⑪ 海外富裕層向け商談会(ILTM)へ出展し、目標を達成することができた。</p>						
成果目標 (指標) 及び達成状況	R6成果目標(指標)		基準値 (R2年度)	R4年度	R5年度	R6年度	目標値 (R7年度)
	①新規路線就航	目 標	—	1路線	1路線	1路線	—
		実 績	—	—	1路線	1路線	3路線
	②運航が再開した路線 (既存路線の復便、定期便就航含む)	目 標	—	2路線	2路線	3路線	—
		実 績	—	—	3路線 (3路線・10社)	6路線 (計9路線・17社)	4路線 (13路線・22社)
	③インド、中東、北欧からの観光客の延人泊数	目 標	—	2.6万人泊	12,480人泊	12,480人泊	—
		実 績	—	—	0人泊	4,915人泊	10,723人泊
	④欧米、東南アジアからの観光客の延人泊数	目 標	—	26.4万人泊	74,880人泊	74,880人泊	—
		実 績	—	—	2.4万人泊	17万1,977人泊	36万6,891人泊
	⑥台湾、韓国、中国、香港からの観光客延べ 人泊数	目 標	—	—	1,160,640人泊	1,160,640人泊	—
		実 績	—	—	4,067,573人泊	7,690,632人泊	—
⑦ ①ブランド動画再生回数 ②SNSにおけるアクション数	目 標	—	—	①400万回 ②3,500回	①400万回 ②3,500回	①200万回 ②1,700回	—
	実 績	—	—	①2,076万回 ②—	①952万回 ②—	①860万回 ②—	—
⑨外国人空路客延べ 人泊数	目 標	—	—	—	124.8万人	124.8万人	—
	実 績	—	—	—	372.4万人	625.9万人	—
⑩連携プロモーションによる 観光客数	目 標	—	100人	100人	100人	100人	—
	実 績	—	—	未実施	未実施	未実施	—
⑪ 沖縄への富裕層の送客を取り扱う旅行社	目 標	—	2社	2社	2社	2社	—
	実 績	—	—	2社	2社	2社	—

達成状況説明	<p>① 台中、福州、仁川からの新規就航が実現し目標達成となった。</p> <p>② 国際航空路線については、釜山、仁川、廈門及びバンコクなどの都市から那覇への新規就航が実現し、目標達成となった。</p> <p>③ インド、中東、北欧でのプロモーションについては令和6年度時点で着手しておらず伸びも限定的となっている。</p> <p>④・⑥ 旺盛な旅行需要及び各市場別プロモーション実施の効果により、目標を達成することができた。</p> <p>⑦ 検索性の向上及びコンテンツの充実に努めた結果、再生回数については目標を達成した。</p> <p>⑨ 旺盛な旅行需要及び各市場別プロモーション実施の効果により、目標を達成することができた。</p> <p>⑩ 令和6年度でキックオフプロジェクト実施したため、以後に開催を予定するプロモーションの実施は見送りとなった。</p> <p>⑪ 富裕層向け商品を扱う旅行社の掘り起こし及び連携により、目標を達成することができた。</p> <p>○那覇空港国際線の路線回復が進み、令和6年度末時点においては、13路線(22社)が運航している。 ・令和5年度末時点: 9路線(17社)運航 ・平成30年度末時点: 16路線(23社)運航 ○今後も既存路線の回復とともに各市場での新たな需要喚起に取り組む。</p>
--------	--

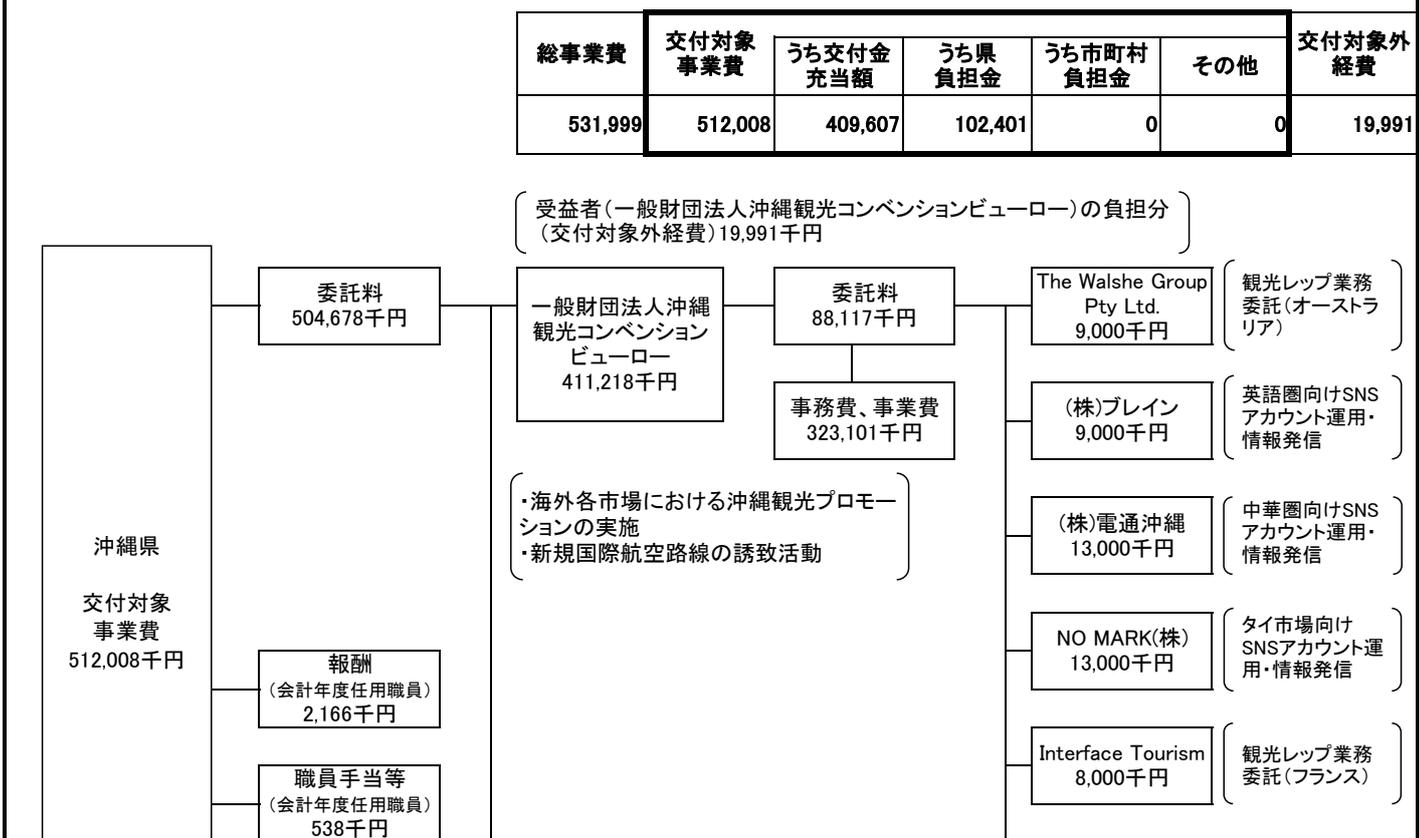
R6-No.147

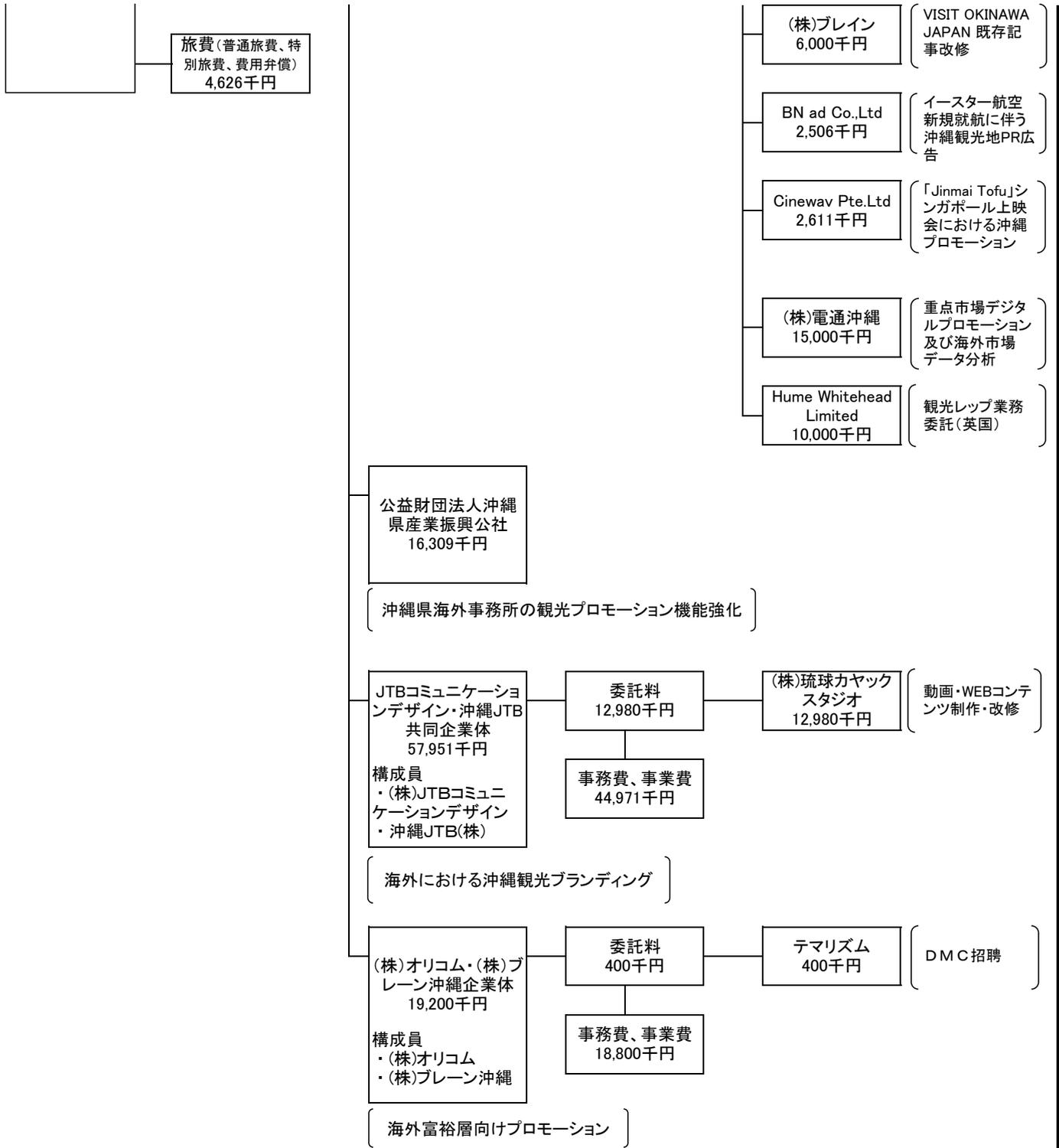
取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	<p>①～⑥、⑨、⑪ 外国人入域観光客数は定期路線の復活や新規路線の就航を背景に増加傾向が続いているが、今後は海外富裕層等の消費単価の高い層の取り込みを目的としたプロモーションを強化する必要がある。</p> <p>⑦ 旺盛な旅行需要を背景に海外からの入域観光客数が増加。多言語だけでなく、トレンドを踏まえた効果的なコンテンツ制作を進める必要がある</p>	<p>①～⑥、⑨、⑪ ・ 空港の受入体制構築に向けて他部局と連携して、那覇空港、新石垣空港及び下地島空港の路線回復に引き続き取り組む。 ・ 沖縄へのインバウンド誘客を強化するため、県内事業者とともに海外旅行博や商談会等への共同出展を推進する。 ・ 沖縄観光の質の向上(滞在日数延伸及び消費単価額向上)に向け、各市場の特性に応じた体験型観光を効果的に訴求する必要がある。</p> <p>⑦ ・ 多言語対応だけでなく、検索率向上に向けたキーワードの整理、視認性のほか、アドベンチャーリズム、伝統的文化体験コンテンツ等を積極的に加えていく必要がある。</p>

今後の取り組み方針

- ①～⑥、⑨、⑪
- ・ 変化する市場動向に対応するため、県海外事務所等を活用した情報収集・分析を実施し、市場および時宜に応じたプロモーション(展示会・商談会出展、招聘事業等)を実施する。
 - ・ 海外の旅行会社、メディア、インフルエンサー等を招聘し、沖縄本島や離島で食、スポーツ、ウェルネス、地域生活等の体験型観光を訴求する。
 - ・ 旅行博や商談会への出展に当たり、県内事業者と共同出展し、官民一体の誘客体制でさらなる沖縄への誘客に努める。
 - ・ 県内の受入体制を考慮しながら、新規路線誘致への取組を継続する。
- ⑦
- ・ 多言語対応だけでなく、検索率向上に向けたキーワードの整理、視認性向上のほか、アドベンチャーリズム、伝統的文化体験コンテンツ等を積極的に加えていくこととする。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)





資金の 使途の 流れ、 費目 ・ 点検 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	<p>○観光関係業界等と連携を図り官民一体となって外国人観光客の誘致・受入の取り組みをしていくため、公的性質を持ち、県の観光施策及び全県的な観光情報を網羅的に把握している唯一の団体であるOCVBとの随意契約は妥当であった。</p> <p>○事業内容に応じて企画提案選定を実施し、事業の効果的な執行に向けて適切な評者を選定した。</p> <p>○事業の活動及び成果目標を達成し、適切な予算規模だった。</p> <p>○費目・使途については委託料の確定時において支出等に関する書類により確認し、適正であった。</p>
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

令和6年度沖縄振興特別推進交付金事業（県分）検証シート【公表用】

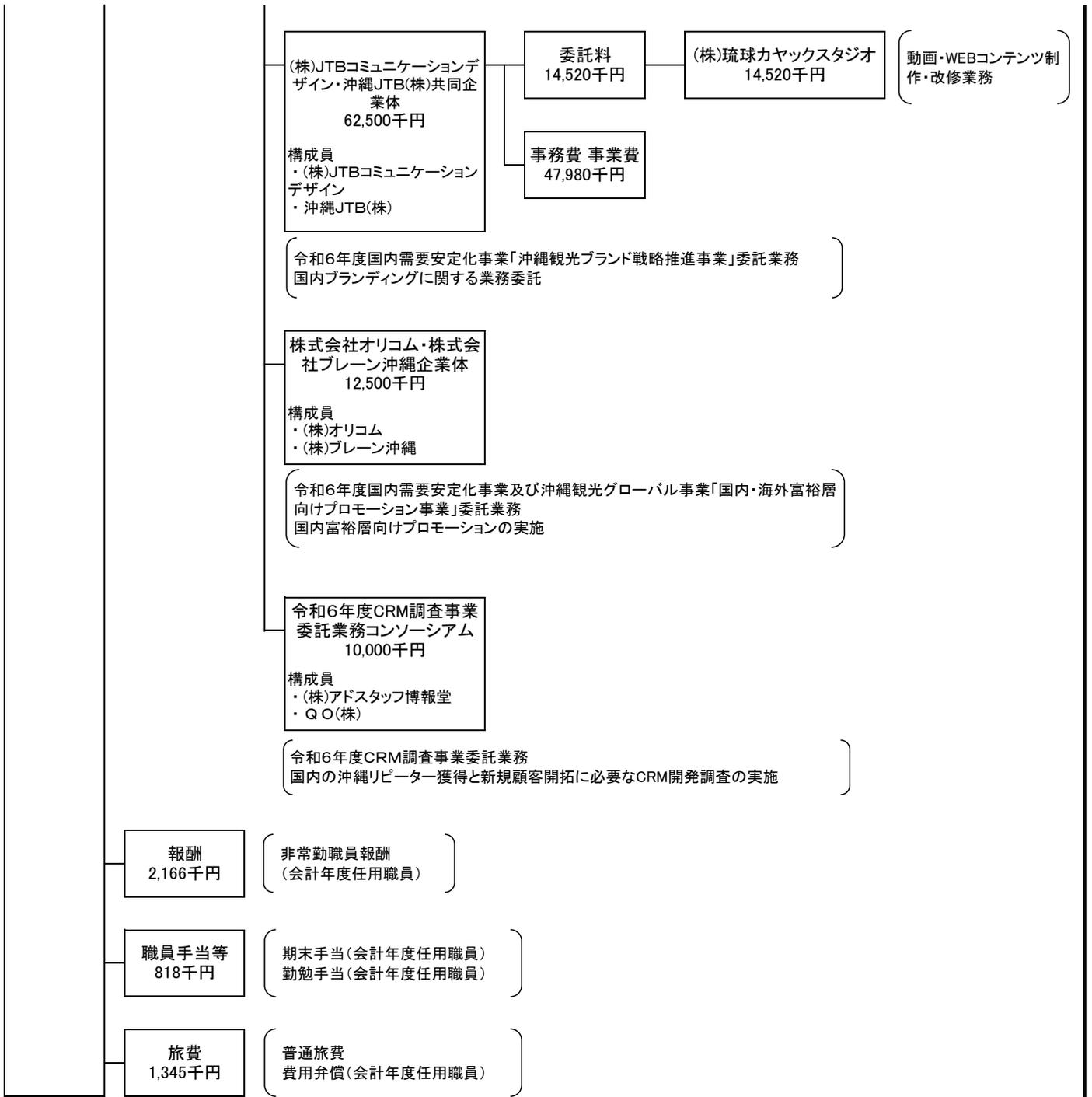
事業番号・事業名	148	国内需要安定化事業	新沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所（第4章）	3-(2)-ウ-②			
担当部課名	文化観光スポーツ部 観光振興課	事業実施（予定）年度	H24～R13 年度	沖縄振興基本方針該当箇所	多様な市場における沖縄観光の価値を訴求する誘客活動の展開 Ⅲ-1-(1)		
事業内容	国内観光客の安定的かつ継続的な確保に向け、戦略的な観光プロモーション活動の実施により、沖縄観光需要の新規創出と沖縄観光経験者層のリピーター化促進に取り組む。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度（ 年度）						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他（ ）						
予算額・執行額【単位：千円】		R4年度	R4年度（繰越）	R5年度	R5年度（繰越）	R6年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	351,722	0	316,549	0	267,596
		(b) 予算現額	351,722	0	316,549	0	267,919
		(c) 増減額 (b-a)	0	0	0	0	323
		(d) 前年度繰越額	0	0	0	0	0
		A. 計 (b+d)	351,722	0	316,549	0	267,919
	B. 執行済額		350,122	0	311,095	0	262,237
	うち交付金充当額		280,098	0	248,876	0	209,790
	C. 次年度繰越額		0	0	0	0	0
	執行率（%）(B/A)		99.5%		98.3%		97.9%
予算の状況の説明		執行率は97.9%であり、概ね計画的に執行した。					
活動目標（指標）及び進捗状況	R6活動目標（指標）		進捗状況				
			R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	
	プロモーション実施回数		目標	20件	20件	20件	20件
		実績	29件	22件	26件	52件	
進捗状況説明		メディア活用プロモーション7回、航空会社・空港・旅行会社等連携プロモーション13回、メディア招聘8回、県外イベントプロモーション19回、ウェブサイト等デジタルプロモーション3回、世界自然遺産プロモーション2回の合計52回のプロモーションを実施し、目標値を上回る取組みを実施した。					
成果目標（指標）及び達成状況	R6成果目標（指標）		基準値（〇〇年度）	R4年度	R5年度	R6年度	目標値（R9年度）
			目標	800万人	800万人	800万人	800万人
	入域観光客数（国内）		実績	6,774,600人	7,289,100人	7,661,200人	
	達成状況説明		<ul style="list-style-type: none"> ● 国内観光客の安定的かつ継続的な確保に向け、メディアの活用・招聘、航空会社・空港・旅行会社等との連携、県外イベント出展等、多角的かつ戦略的な観光プロモーション活動の実施により、沖縄観光需要の新規創出と沖縄観光経験者層のリピーター化促進に取り組んだ。 ● 令和6年度の国内観光客数は、4月～6月期は前年同期比で減少となったが、7月以降は台風等の大きな影響もなく、連休期間中の旅行需要を見込んだ航空会社による増便・臨時便・季節運航等の実績が好調に推移したことなどから、合計で766万1200人となった。これまでで最多だった令和5年度から37万2100人増となり、過去最多となった。 				

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<ul style="list-style-type: none"> ● 沖縄観光需要の新規創出と沖縄観光経験者層のリピーター化促進のため、海やビーチリゾート等の従来のイメージから脱却し、国内他地域と差別化できる沖縄の独自性や希少性のPRを強化する必要がある。 ● 長引く円安の影響により、日本国内では海外旅行よりも安価で短い旅程の国内旅行のニーズや選好傾向が堅調である。 	<ul style="list-style-type: none"> ● エシカルトラベル等のテーマ型観光の訴求や、琉球王国の歴史文化、世界自然遺産構成資産である沖縄島北部及び西表島といった、独自性及びストーリー性のあるコンテンツを積極的に取り上げて発信する。 ● ハワイや東南アジア等の海外リゾート等を好んでいた日本人観光客に対し、国内でも独自性や非日常性のある沖縄という旅先を積極的に発信・訴求し、国内観光客の中長期休暇中の観光ニーズを取り込む。
今後の取り組み方針		
<p>沖縄からの直行便就航地における航空会社及び地方空港等との連携プロモーションを強化し、国内観光客の安定的かつ継続的な確保に向けた観光プロモーションを実施することにより、沖縄観光需要の新規創出と沖縄観光経験者層のリピーター化促進に取り組む。</p>		

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	うち交付金充当額	うち県負担金	うち市町村負担金	その他	交付対象外経費
271,025	262,237	209,790	52,447	0	0	8,788

沖縄県 交付対象事業費 262,237千円	委託料 257,908千円	一般財団法人沖縄観光コンベンションビューロー 172,908千円 (令和6年度国内需要安定化事業 国内向け沖縄観光誘客プロモーションの実施) 一般財団法人沖縄観光コンベンションビューロー負担分	委託料 78,010千円	IJU(株) 2,992千円 (沖縄県ローカルポケモンWEBページ作成業務)
			事務費 事業費 94,898千円	(有)アイディー・ブランド 8,800千円 (沖縄総合ガイドブック制作業務)
				(株)アドスタッフ博報堂 7,700千円 (ツーリズムEXPOジャパン2024出展業務)
				(株)ノイズ・バリュー社 23,000千円 (エシカルトラベルプロモーション業務)
				NO MARK(株) 9,317千円 (デジタル広告配信業務)
				光文堂コミュニケーションズ(株) 20,000千円 (リピーター創出プロモーション業務)
				(有)アイディー・ブランド 3,000千円 (「おきなわ物語」新規特集記事作成業務)
				IJU(株) 2,937千円 (「おきなわ物語」WEBページ作成ツールCMS改修業務)
				IJU(株) 264千円 (「おきなわ観光旅診断」デザイン改修お気に入り一覧統合業務)



評価	点検項目	評価に関する説明
資金の 流れ・ 費目・ 評価	○ 支出先の選定方法は妥当か。	○ 令和6年度国内需要安定化事業について、観光関係業界等と連携を図り官民一体となって国内観光客の誘致に取り組むため、公的性質を持ち、県の観光施策及び全県的な観光に関しての情報や県内機関・事業者等とのネットワークを持つ一般財団法人沖縄観光コンベンションビューローを委託先と選定した。 ○ 上記以外の3件については企画提案公募により選定・採択した。費目及び用途について証憑書類等を検査・確認しており、いずれも適正に執行された。
	○ 予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	○ 受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○ 費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

令和6年度沖縄振興特別推進交付金事業（県分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	150	フィルムツーリズム推進事業	新沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所（第4章）	3-(2)-ウ-①				
担当部課名	文化観光スポーツ部 観光振興課	事業実施（予定）年度	H25～R13 年度	沖縄のソフトパワーを生かしたツーリズムの推進				
事業内容	①沖縄の自然や文化、伝統、物産等を活用した映像コンテンツを通して観光誘客を図るため、沖縄ロケを実施する映画・ドラマの誘致を行うとともに、スムーズなロケ撮影のためのワンストップサービスを提供する。 ②沖縄国際映画祭を通して観光誘客を図るため、映画祭の開催期間中におけるシャトルバス運行や海外メディア招聘等の支援を行うほか、国内外の旅行博や沖縄関連イベントにおいて、沖縄国際映画祭のPR及び沖縄観光プロモーションを実施する。							
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度（ 年度）							
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他（ ）							
予算額・執行額【単位：千円】		R4年度	R4年度（繰越）	R5年度	R5年度（繰越）	R6年度		
	予算の状況	(a) 当初予算額	63,847		64,644		60,588	
		(b) 予算現額	63,847		64,644		60,588	
		(c) 増減額 (b-a)	0	0	0	0	0	
		(d) 前年度繰越額						
		A. 計 (b+d)	63,847	0	64,644	0	60,588	
	B. 執行済額		63,290		63,545		60,208	
	うち交付金充当額		50,632		46,040		48,166	
	C. 次年度繰越額		0		0	0	0	
	執行率（%）(B/A)		99.1%		98.3%		99.4%	
予算の状況の説明		執行率は99.4%であり、概ね計画的に執行できた。						
活動目標（指標）及び進捗状況	R6活動目標（指標）		進捗状況					
			R3年度	R4年度	R5年度	R6年度		
	①映画祭等への出展	目標	10箇所	3箇所	3箇所	3箇所		
		実績	8箇所	4箇所	9箇所	5箇所		
	②沖縄ロケ作品の支援件数	目標	20件	30件	20件	20件		
		実績	12件	27件	37件	29件		
	③国内外マーケット出展件数	目標	—	2回	2回	2回		
実績		—	2回	4回	5回			
進捗状況説明	①国内外の映画祭等へ出展（フィリピン、東京の現地参加、オンラインを含む）し、これまでの支援作品の紹介等を行い、ロケ誘致を図った。また、全ての出展において商談を実施し、映像制作関係者とコネクション強化に努めた。 ②令和6年度は、29件のロケ支援を実施した。（内訳：国内23件、海外6件） ③ロケ地としての沖縄の魅力を国内外に発信し、ロケ地誘致及び県産コンテンツの海外セールスの推進に取り組むため、国内外のマーケットに5回出展した。							
成果目標（指標）及び達成状況	R6成果目標（指標）		基準値（〇〇年度）	R4年度	R5年度	R6年度	目標値（〇〇年度）	
	①フィルムツーリズム推進事業映画祭等出展時の商談件数	目標		100件	100件	100件		
		実績			57件	72件	60件	
	②フィルムツーリズム推進事業TVや映画をきっかけとした来沖者数30万人	目標			30万人	30万人	30万人	
		実績			30万人	30.4万	87万人	
	③沖縄国際映画祭関連事業イベント参加人数	目標			1,000人	1,000人	1,000人	
		実績			1,570人	4,880人	13,750人	
達成状況説明	①目標100件に対し、実績60件となり目標値を下回った。特にオンライン出展の際は、アポイントの取りづらさやダイレクトなプロモーションが難しい等の理由から、商談実績が少ないものとなった。 ②目標30万人に対して87万人と目標を達成することができた。 ③目標1,000人に対して13,750人と目標を達成することができた。							

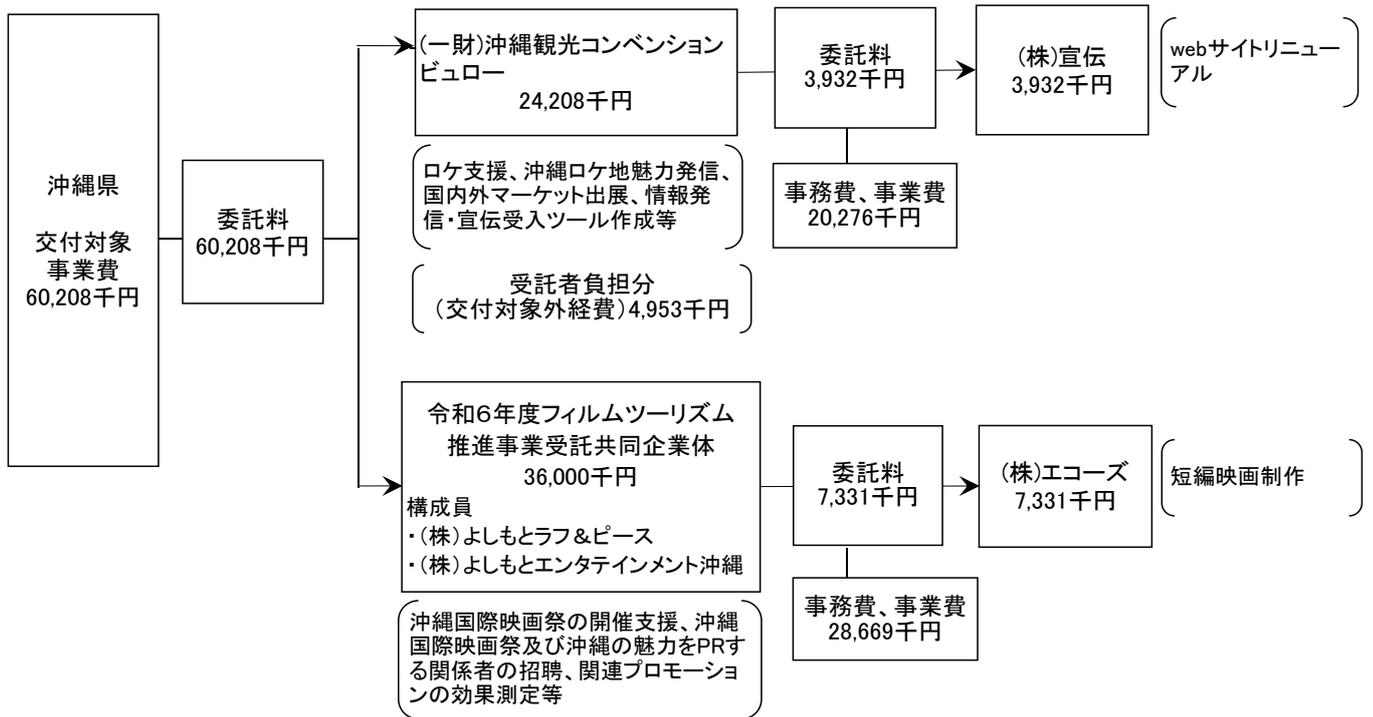
取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	①沖縄の魅力を発信しつつ、商談時のマッチング成功率を上げる工夫を必要とする必要がある。 ②ロケ資源の保全(ゲリラ撮影、無茶な撮影の抑止)を行い、持続可能な観光を推進する必要がある。また、来沖者数を増やす取組を検討する必要がある。 ③沖縄国際映画祭は16年にわたり開催されてきたため、映画祭の来場者にとって、飽きの来ない内容となるよう検討する必要がある。	①ハイブリッド型の映画祭・展示会は積極的に現地に参加する。オンライン実施の際は、アピール方法を工夫しマッチング成功率をあげるようにする。 ②ロケ受入環境の整備を図るとともに、ロケ地としての沖縄の魅力を発信に努める必要がある。 ③飽きの来ない内容とするため、県民にとって新たな発見や学びの場となるよう文化面の取組を強化する必要がある。

今後の取り組み方針

- ①国内外のマーケット出展、イベントの開催の取組を強化し、観光地及びロケ地としての沖縄の魅力を発信する。
- ②令和3年度に作成した「ロケの円滑な受入れのためのガイドライン」を広く周知・啓発するとともに、市町村・観光協会を対象として、ロケ受入のためのセミナー及び意見交換会を開催する。また、国内外のマーケットにブース出展することでロケ地沖縄の魅力を発信を行う。
- ③伝統芸能や美術等に携わる県内若手アーティストの発表の場を創出するなど、新たな取組を実施する。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	うち交付金充当額	うち県負担金	うち市町村負担金	その他	交付対象外経費
65,161	60,208	48,166	12,042	0	0	4,953



資金の 使途の 流れ、 費目 ・ 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
○		支出先の選定方法は妥当か。	○委託事業者は公募型プロポーザル方式により企業組織、実績、知識等を勘案した上で選定しており、妥当であったと考えている。
		予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
		受益者との負担関係は妥当であるか。	○費目・使途が事業目的達成の観点から必要なものかなどについて、額の確定検査時に支出に関する書類確認を行った結果、適正であった。
		費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

令和6年度沖縄振興特別推進交付金事業（県分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	151	カップルアニバーサリーツーリズム事業			新沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所 (第4章)	3-(2)-ウ-②		
						多様な市場における沖縄観光の 価値を訴求する誘客活動の展 開		
担当部課名	文化観光スポーツ部 観光振興課	事業実施 (予定)年度	H28~R13 年度		沖縄振興基本方針 該当箇所	Ⅲ-1-(1)		
事業内容	リゾートウェディング挙式組数の増加を図るため、カップルアニバーサリーツーリズムを沖縄観光ブランドの一つと位置づけ、国内外に 向けてプロモーションを実施する。 ・ブランディングブランドイメージ(動画、静止画等)の制作・発信 ・国内プロモーション フェア等の開催、プロモーション ・海外プロモーション フェアの開催、プロモーション ・情報発信 WEBサイト等を活用した情報発信 ・受入体制強化 県内事業者・関係機関との意見交換・情報共有等							
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)							
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他 ()							
予算額・ 執行額 【単位:千円】	予算 の 状 況	(a) 当初予算額	R4年度	R4年度(繰越)	R5年度	R5年度(繰越)	R6年度	
		(b) 予算現額	39,500		35,550		33,773	
		(c) 増減額(b-a)	39,500	0	35,550	0	33,773	
		(d) 前年度繰越額	0	0	0	0	0	
		A. 計(b+d)	39,500	0	35,550	0	33,773	
	B. 執行済額		39,360		32,486		33,647	
	うち交付金充当額		31,488		25,989		26,917	
	C. 次年度繰越額				0	0	0	
	執行率(%) (B/A)		99.6%		91.4%		99.6%	
	予算の状況の説明		執行率は99.6%であり、概ね計画的に執行できた。					
活動目標 (指標) 及び進捗状況	R6活動目標(指標)		進捗状況					
				R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	
	国内フェア・海外フェア等におけるプロモーション回数		目標	8回	6回	6回	6回	
			実績	10回	8回	8回	8回	
進捗 状況 説明	国内フェア・海外フェア等におけるプロモーション回数について、目標値6回に対して、実績8回と目標を上回った。							
成果目標 (指標) 及び達成状況	R6成果目標(指標)		基準値 (〇〇年度)	R4年度	R5年度	R6年度	目標値 (〇〇年度)	
			目標		11,000組	17,800組	19,000組	
	リゾートウェディング実施組数		実績		18,430組	22,095組	20,153組	
	達成 状況 説明	令和6年(暦年)の総実施組数は、過去最多となった令和5年と比較すると、コロナ期の待機組による需要が一服したことや物価高騰の影響により、前年度を下回る20,153組となったが、目標は達成した。						

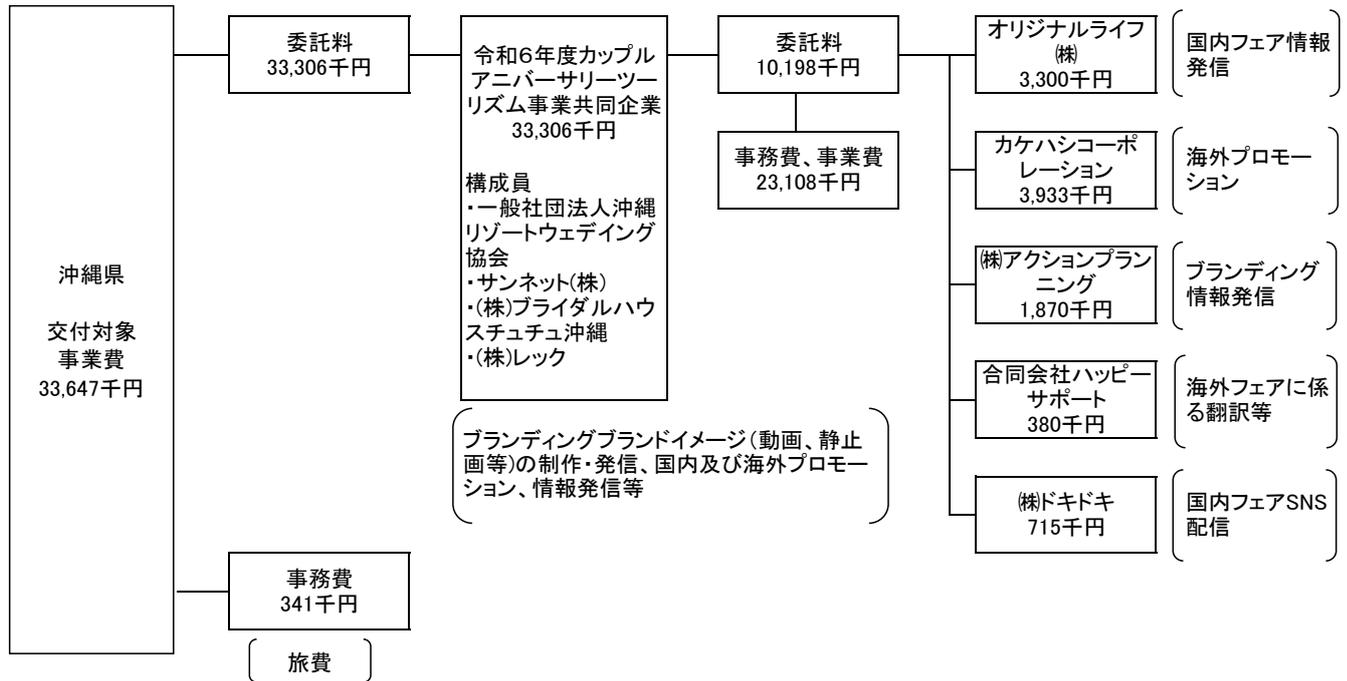
取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<p>・物価高騰の影響から、国内市場においては、沖縄以外の他県におけるウエディングの需要が高まっている。そのため、円安の影響もあり来県しやすい海外市場においてプロモーションを強化する。</p> <p>・国内市場において、少子化や経済的な理由から挙式や披露宴をしない層、結婚式に意味を見出せない「ナシ婚」層が一定程度いることから、リゾートウエディングだけでなく、カップルアニバーサリーに特化したプランディングを強化する必要がある。</p>	<p>・円安等の影響により、海外挙式のハードルがまだ高いことから、国内外におけるプロモーションを実施し、需要の取込を図る。また、県内事業者の受け入れ態勢の強化のため、情報発信やメイクアップ等にかかるセミナーを実施する。</p> <p>・ウエディングだけでなく、プロポーズやハネムーン、パウリニューアルなど、カップルの記念日を沖縄で過ごすための「カップルになった瞬間」から幅広い世代へ向けて沖縄がカップルで訪れる特別な場所としてのイメージ定着を図る必要がある。</p>

今後の取り組み方針

- ・沖縄リゾートウエディングの価値の向上・浸透を図るため、沖縄リゾートウエディングのプランディングとして、イメージを訴求する動画等を制作し、WEB・SNSもしくはイベント等を活用し、イメージの定着を図る。
- ・物価高や円安等の影響から、当面は海外渡航に慎重になることが想定されるため、国内及びアジア市場(台湾・香港など)の海外意向層向けに高付加価値商品等に重点を置いたプロモーションを実施し、需要の取込を図る。
- ・多様なニーズに対応しうる人材育成のため、事業者向けの研修等を実施し、受入体制の強化を図る。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	うち交付金充当額	うち県負担金	うち市町村負担金	その他	交付対象外経費
33,647	33,647	26,917	6,730	0	0	0



資金の 使途の 流れ、 費目 ・ 点検 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	<p>○本事業は、予算の範囲内でより効果的な事業を実施するため、事業者から広く企画提案書を募集し、文化観光スポーツ部内に設置する企画提案選定委員会(委員長:観光政策統括監)で提案内容を審議し、優れた企画を行った事業者を選定した。</p> <p>○費目・使途については委託料の検査時において支出等に関する書類により確認しており、適正であった。</p>
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

令和6年度沖縄振興特別推進交付金事業（県分）検証シート【公表用】

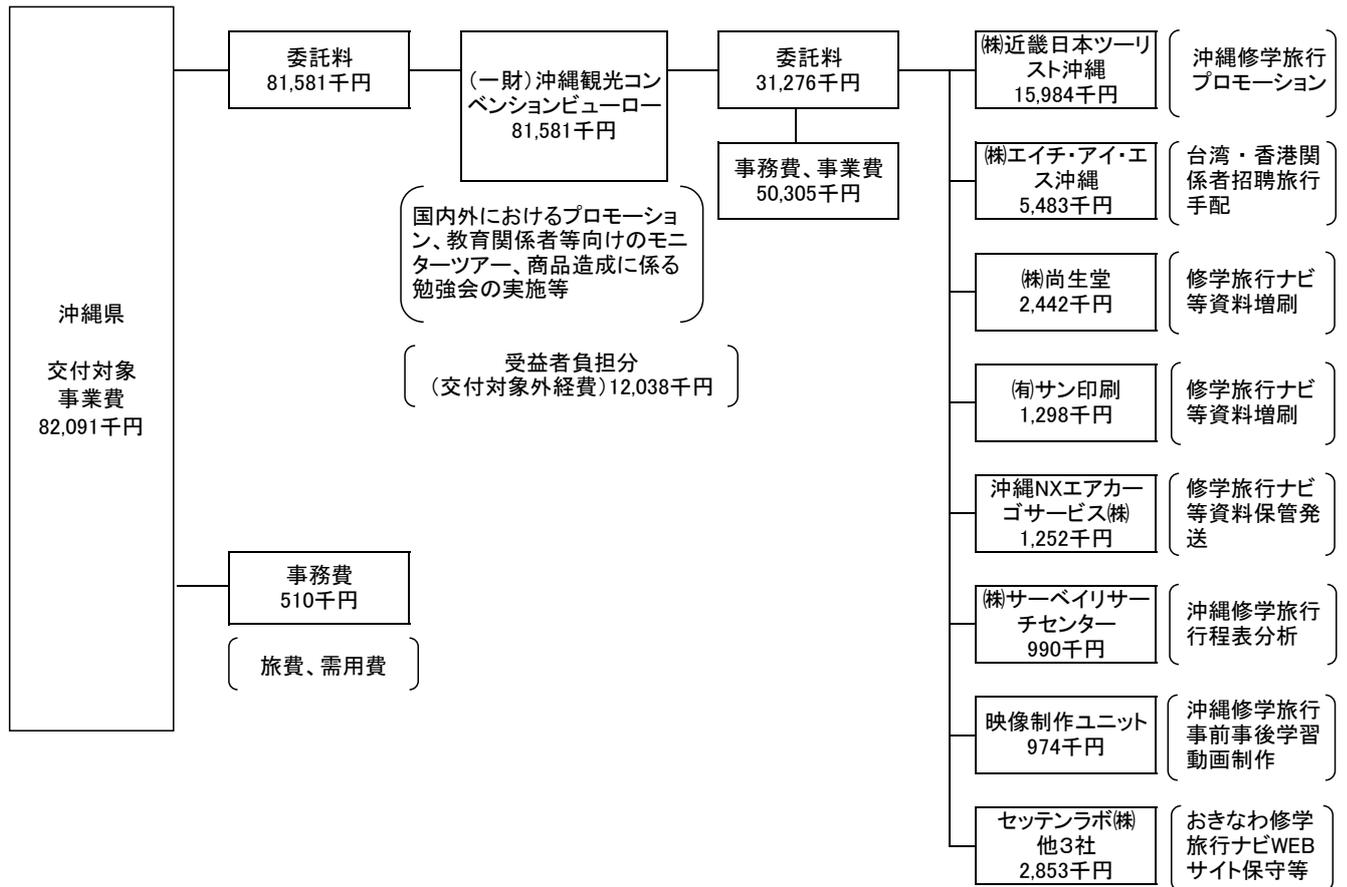
事業番号・事業名	152	教育旅行推進強化事業	新沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所（第4章）		3-(2)-ウ-②		
担当部課名	文化観光スポーツ部 観光振興課	事業実施（予定）年度	H25～R13 年度		沖縄振興基本方針該当箇所	多様な市場における沖縄観光の価値を訴求する誘客活動の展開 Ⅲ-1-(1)	
事業内容	沖縄への修学旅行を安定的に確保するため、沖縄修学旅行プロモーションの実施や実施予定校に対する事前・事後学習支援、商品造成の支援等を行う。また、実施時期分散化など受入体制整備に向けた取組を実施する。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度（ 年度）						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他（ ）						
予算額・執行額 【単位：千円】		R4年度	R4年度（繰越）	R5年度	R5年度（繰越）	R6年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	78,393		102,590		83,309
		(b) 予算現額	78,393		102,590		83,309
		(c) 増減額 (b-a)	0	0	0	0	0
		(d) 前年度繰越額	0				
		A. 計 (b+d)	78,393	0	102,590	0	83,309
	B. 執行済額		77,241		100,276		82,091
	うち交付金充当額		61,739		72,337		65,673
	C. 次年度繰越額		0		0	0	0
	執行率（%）(B/A)		98.5%		97.7%		98.5%
予算の状況の説明		例年東京で行っている相談会のほか、兵庫でも相談会を開催し、長野と福岡ではセミナーと称した小規模催事を実施した。また、海外における催事への参加もあり、執行率は98.5%と概ね計画的に執行を行うことができた。					
活動目標（指標）及び進捗状況	R6活動目標（指標）		進捗状況				
			R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	
	①プロモーション実施	目標	6回	6回	6回	5回	
		実績	4回	7回	10回	10回	
	②修学旅行模擬体験	目標	14件	14件	14件	15件	
実績		19件	10件	6件	8件		
進捗状況説明	①プロモーションについては、今年度は県外での説明会や、セミナー、モニターツアー等を活用したプロモーションを積極的に行ったこともあり、目標値を達成した。 ②修学旅行模擬体験については、事業認知が不足していたこともあり目標を達成できなかった。						
成果目標（指標）及び達成状況	R6成果目標（指標）		基準値（〇〇年度）	R4年度	R5年度	R6年度	目標値（〇〇年度）
	①プロモーション参加人数	目標		300人	300人	300人	
		実績		412人	564人	301人	
	②修学旅行模擬体験提供	目標		28人以上	28人以上	30人以上	
		実績		27人	15人	21人	
達成状況説明	①プロモーションについては、国内外での説明会や修学旅行セミナーの開催や参加によるプロモーションを行ったことにより、目標値を達成した。 ②修学旅行模擬体験については、事業認知が不足していたこともあり、目標を達成できなかった。						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<ul style="list-style-type: none"> ・沖縄への修学旅行の実施が4月～6月、10月～12月に集中することから、閑散期への実施へ向けたプロモーションを行う必要がある。 ・国内市場の減少が見込まれる状況において、国内修学旅行需要を継続的かつ安定的に確保していくため、効果的なプロモーション活動や、学校のニーズに即した教育プログラムの造成等を実施する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・例年修学旅行を実施していない時期への変更を検討してもらうため、教員向けのモニターツアーを実施し、時期変更の誘導を図る。 ・効果的なプロモーション活動を継続するとともに、県内事業者向けの商品造成にかかるセミナー等を開催し、受入体制の強化に努める。

今後の取り組み方針
<ul style="list-style-type: none"> ・より効果的なプロモーションを実施するため、プロモーションの開催エリア及び手法等の見直しを図る。また、修学旅行における商品のニーズや修学旅行受入にあたり、障壁となり得る各種課題について調査・分析を行うことで、受入体制の強化を図る。 ・事前・事後学習の提供プログラムの拡充や模擬体験提供を通して、海外や国内他地域からの行き先の変更需要に対応し、新規実施校の獲得を図る。 ・海外教育旅行の受入体制整備の強化を図るため、教育委員会への周知依頼を行う。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	うち交付金充当額	うち県負担金	うち市町村負担金	その他	交付対象外経費
94,129	82,091	65,673	16,418	0	0	12,038



資金の流 れ、費 目 点 検 評 価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	<ul style="list-style-type: none"> ○本事業は観光関係業界等と連携を図り官民一体となって国内観光客の誘致の取組をしていくものであるため、公的性質を持ち、かつ、県の観光施策及び全県的な観光に関する情報を十分に把握している唯一の団体であるOCVBへの委託は妥当であった。 ○費目・使途については委託料の確定時において支出等に関する書類により確認しており、適正であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

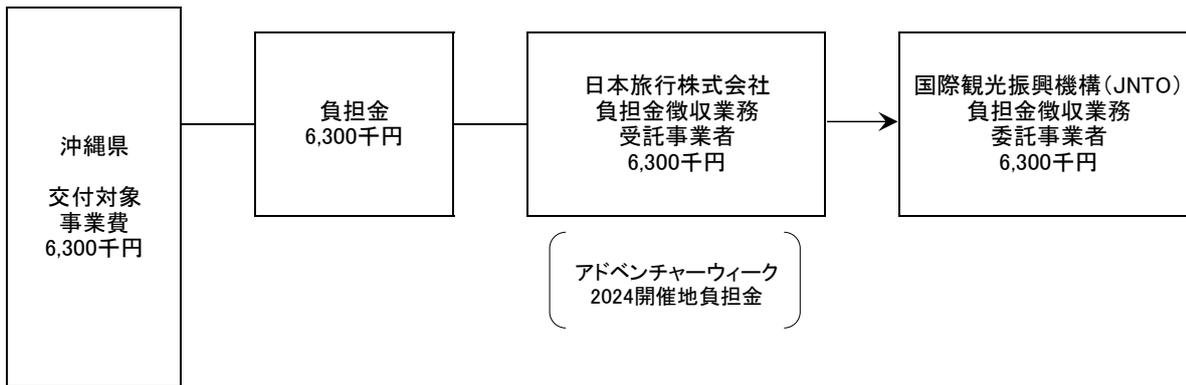
令和6年度沖縄振興特別推進交付金事業（県分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	153	アドベンチャーウィーク開催事業	新沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所 (第4章)	3-(2)-ウ-①			
担当部課名	文化観光スポーツ部	観光振興課	事業実施 (予定)年度	R6 年度			
			沖縄振興基本方針 該当箇所	Ⅲ-1-(1)			
事業内容	欧米の旅行会社やメディア関係者が実際に開催地のアドベンチャートラベル商品を体験し、地域関係者との商談会を実施することで、商品のさらなる磨き上げとツアー造成を促進し販路の拡大を図るため、沖縄県においてアドベンチャーウィーク2024を開催する。						
効果発現年度	■当年度 ■後年度(令和7年度)						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input checked="" type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他 ()						
予算額・ 執行額 【単位:千円】		R4年度	R4年度(繰越)	R5年度	R5年度(繰越)	R6年度	
	予算 の 状 況	(a) 当初予算額					6,900
		(b) 予算現額					6,900
		(c) 増減額 (b-a)	0	0	0	0	0
		(d) 前年度繰越額					
		A. 計 (b+d)	0	0	0	0	6,900
	B. 執行済額						6,300
	うち交付金充当額						5,040
	C. 次年度繰越額				0	0	0
	執行率 (%) (B/A)						91.3%
予算の状況の説明		<ul style="list-style-type: none"> 外国人富裕層向けの高付加価値なアドベンチャーツーリズムの活性化を図ることを目的に、令和6年度のみ新規事業として、開催地負担分に要する経費として負担金を計上した。 執行率は91.3%であり、主に本県負担額の減による執行残が発生したことによるものである。 					
活動目標 (指標) 及び進捗状況	R6活動目標(指標)		進捗状況				
			R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	
	アドベンチャーウィーク開催メディア招聘数		目標			10人	
		実績			15人		
進捗状況説明		メディア招聘にあたっては、ATTA(世界最大のアドベンチャーツーリズム組織団体)が厳選した欧米メディアを招聘することができた。					
成果目標 (指標) 及び達成状況	R6成果目標(指標)		基準値 (〇〇年度)	R4年度	R5年度	R6年度	目標値 (〇〇年度)
			目標			106,386円	
	外国空路客の一人当たり観光消費額		実績			116,605円	
	達成状況説明		外国空路客の一人当たり観光消費額については、実績が116,605円となり、目標を達成できた。				

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	今後販売につなげるためには、県内関連事業者と旅行会社・DMCとのネットワーク構築の他、コンテンツやツアーを磨き上げていく必要がある。	県内関連事業者と旅行会社・DMCとのネットワーク構築に取り組むとともに、コンテンツやツアーの磨き上げや、受入環境の課題を抽出し、受入環境の改善・整備を図る。
今後の取り組み方針		
招聘ツアーの実施や商談会を通じて、旅行会社・DMCとのネットワーク構築に取り組むとともに、受入環境の課題を抽出し、受入環境の改善・整備を図り、販路形成に取り組む。		

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	うち交付金充当額	うち県負担金	うち市町村負担金	その他	交付対象外経費
6,300	6,300	5,040	1,260	0	0	0



資金の流 れ、費 目・ 使途 の 点 検 評 価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○支出先は共催事業者の徴収業務を受託している事業者のため、選定方法は妥当であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	○費目・使途については、事業目的達成の観点から必要なものか等について額確定時に支出等関係書類により適正であることを確認した。
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

令和6年度沖縄振興特別推進交付金事業（県分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	156	文化資源を活用した沖縄観光の魅力アップ支援事業	新沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所 (第4章)	3-(2)-ウ-①			
				沖縄のソフトパワーを生かした ツーリズムの推進			
担当部課名	文化観光スポーツ部	文化振興課	事業実施 (予定)年度	H24~R8	年度	沖縄振興基本方針 該当箇所	Ⅲ-3-(3)
事業内容	沖縄特有の文化資源を活用した新たな観光メニューを確立させ、沖縄観光の誘客を図るための取り組みを実施する。 ・登録文化団体を活用したツアー組み込み等への斡旋 ・観光施設等と連携した文化体験プログラムの実施						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】	予算 の 状況	(a) 当初予算額	R4年度	R4年度(繰越)	R5年度	R5年度(繰越)	R6年度
		(b) 予算現額	29,545		26,050		17,160
		(c) 増減額(b-a)	29,545		26,050		17,160
		(d) 前年度繰越額	0	0	0	0	0
		A. 計(b+d)	29,545	0	26,050	0	17,160
		B. 執行済額	27,409		25,340		17,101
		うち交付金充当額	21,928		20,272		13,681
		C. 次年度繰越額			0	0	0
		執行率(%) (B/A)	92.8%		97.3%		99.7%
		予算の状況の説明	・予算額は、旅費、委託料を計上し、文化資源を活用した新たな観光メニューを確立させるため、公益財団法人沖縄県文化振興会への業務委託により実施した。 ・執行率は99.7%となっており、概ね計画的に執行できた。				
活動目標 (指標) 及び進捗状況	R6活動目標(指標)		進捗状況				
			R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	
	文化と観光の連携促進のための会議等の実施:1回/年	目標		2回	1回	1回	
		実績		2回	2回	2回	
	舞台公演 2回/年	目標	12回	4回	2回		
		実績	12回	5回	2回		
	文化体験プログラムの実施:10回/年	目標		10回	10回	10回	
		実績		6回	4回	11回	
	県外プロモーション公演の実施:1回/年	目標	1回	1回	1回		
		実績	1回	1回	3回		
進捗状況説明	・文化と観光の連携のための会議等の実施は、目標値を達成した。 ・文化体験プログラムの実施は、目標値を達成した。 ・舞台公演及び県外プロモーション公演は事業見直しにより、他事業にて実施。						
成果目標 (指標) 及び達成状況	R6成果目標(指標)		基準値 (R4年度)	R4年度	R5年度	R6年度	目標値 (〇〇年度)
	・文化と観光の連携促進のための会議等に 参加した旅行者等の人数 :50人	目標	50人	50人	50人	50人	50
		実績	64人	64人	87人	185人	
	・舞台公演入場者における観光客の割合: 16%	目標	15%	15%	16%	-	16%
		実績	11.3%	11.3%	7.9%	-	-
	・文化体験プログラムに参加した観光客数 :500人	目標	500人	500人	500人	500人	500人
		実績	438人	438人	1,142人	1,267人	
	・県外プロモーション公演の入場率:7割	目標	70%	70%	70%	-	70%
		実績	70.6%	70.6%	56.0%	-	-
	達成状況説明	・文化と観光の連携促進のための会議等に参加した旅行者等の人数は、目標値を達成した。 ・文化体験プログラムに参加した観光客数は、大規模イベントへの出演等により、目標値を達成した。 ・舞台公演及び県外プロモーション公演は事業見直しにより、他事業にて実施。					

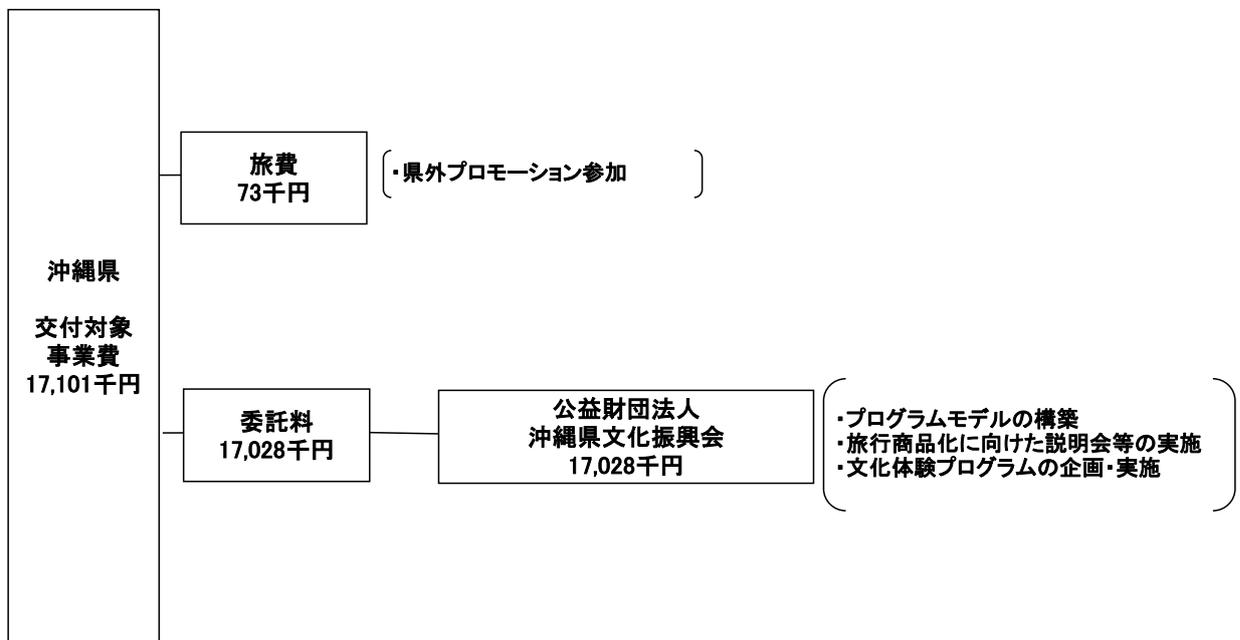
	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	①ツアー造成を実施したが観光客への波及は限定的だった。 ②セミナーで交流の場は設けたが、連携継続や商品化には至っていない。 ③伝統芸能団体の企画意欲は確認できたが、価格設計や販売戦略など営業力強化が求められる。	①観光客目線の情報発信の在り方を見直し、販路を広げる工夫が必要。 ②伝統芸能団体と観光関係事業者を繋げる場を継続して設けることが必要。 ③伝統芸能団体の商品開発能力向上及び営業力強化を図る支援体制が求められる。

今後の取り組み方針

- ①プロモーションの専門的支援を受けながら、商品に応じたターゲット設定を強化する。
- ②伝統芸能団体と観光関係事業者の継続的な連携を促進する場の設定とフォローアップを行う。
- ③伝統芸能団体向けセミナー等により、商品開発能力向上及び営業力強化を図る。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	うち交付金充当額	うち県負担金	うち市町村負担金	その他	交付対象外経費
17,101	17,101	13,681	3,420	0	0	0



資金の 使途の 流れ、 費目 点検 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○費目・使途については、額の確定時において、事業目的達成の観点から真に必要な経費かどうか、証憑書類を確認した結果、適正に執行されていた。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

令和6年度沖縄振興特別推進交付金事業（県分）検証シート【公表用】

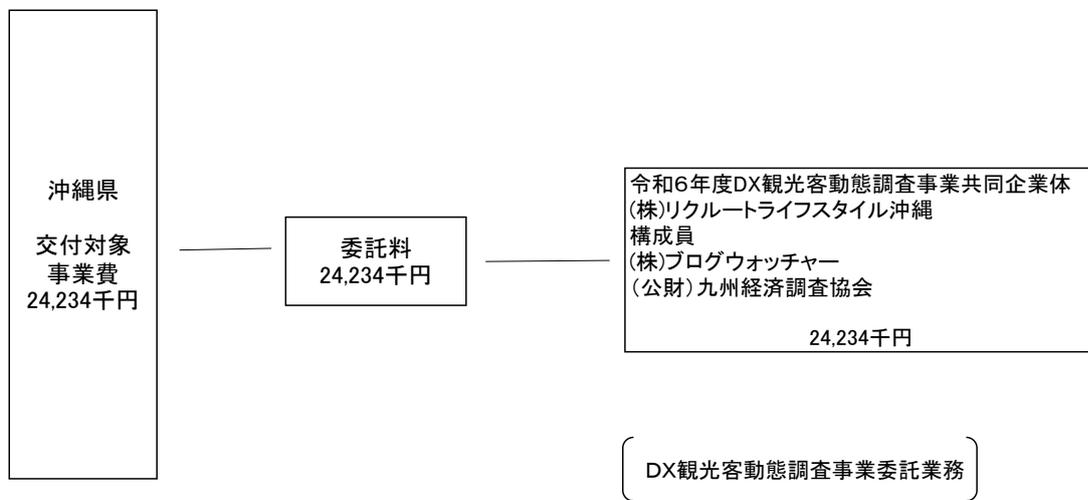
事業番号・事業名	135	DX観光客動態調査事業	新沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所 (第4章)	3-(2)-E-③			
				データを活用した戦略的なマーケティングの推進			
担当部課名	文化観光スポーツ部	観光政策課	事業実施 (予定)年度	R4~R13	年度	沖縄振興基本方針 該当箇所	Ⅲ-1-(1)
事業内容	観光客の行動歴データ等から属性や季節毎の特性を把握し、ターゲットの細分化を図る						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他 ()						
予算額・執行額 【単位:千円】	予算 の 状 況	(a) 当初予算額	R4年度	R4年度(繰越)	R5年度	R5年度(繰越)	R6年度
		(b) 予算現額	15,000		14,965		25,000
		(c) 増減額(b-a)	15,000		14,965		25,000
		(d) 前年度繰越額	0	0	0	0	0
		A. 計(b+d)	15,000	0	14,965	0	25,000
	B. 執行済額		14,998		14,937		24,234
	うち交付金充当額		11,999		11,949		19,388
	C. 次年度繰越額				0	0	0
	執行率(%) (B/A)		100.0%		99.8%		96.9%
	予算の状況の説明		執行率は96.9%であり、概ね計画的に執行できた。				
活動目標 (指標) 及び進捗状況	R6活動目標(指標)		進捗状況				
	観光客の行動歴データ30,000件	目標	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	
		実績		30,000件	30,000件	60,000件	
	圏域内観光客の平準化	目標		圏域内観光客の平準化			
		実績		圏域内観光客の平準化			
	進捗状況説明	観光客の行動歴データサンプル数について令和6年度目標の6万件に対し、364,856件のデータが取得でき目標を達成した。					
成果目標 (指標) 及び達成状況	R6成果目標(指標)		基準値 (〇〇年度)	R4年度	R5年度	R6年度	目標値 (〇〇年度)
	ターゲットを絞った誘客プロモーション、観光商品・サービスの開発、観光ツアーの造成	目標		圏域内観光客の平準化	1	1	
		実績		圏域内観光客の平準化	0	4	
	沖縄旅行に対する観光客の満足度(国内客「大変満足」67.8%(令和2年度)の向上)	目標		観光客満足度の向上			
		実績		国内客満足度の向上			
	達成状況説明	・前年度の分析レポートにおいて設定した4つのターゲット層に対して各々のニーズにあわせた観光施設、アクティビティ、食事、宿泊ホテル等の提案を行った4件の誘客ポロモーションを実施し、目標を達成した。					

	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	<p>・分析レポートの更なる活用を図るため、調査結果のHP上での公表だけでなく報告会などを開催し、活用を促していく必要がある。</p>	<p>・調査分析結果の取りまとめを年度末だけではなく、できる限り早期に実施し、関係機関へと共有する必要がある。また県内各市町村等に対し分析レポートについての説明会を実施するなど、積極的に内容を発信することで更なる活用に繋がる。</p>

今後の取り組み方針
<p>・前年度調査の分析レポートや今年度調査の状況など、県の観光関連課や各市町村、観光DMOに対し報告会を開催することで分析レポートの更なる活用を図っていく。</p>

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	うち交付金充当額	うち県負担金	うち市町村負担金	その他	交付対象外経費
24,234	24,234	19,388	4,846	0	0	0



資金の流 使途の点 検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	<p>○委託事業者は、企画提案プロポーザルにより選定したため、妥当であったと考える。</p> <p>○費目・使途については、実績報告書等进行检查し、適正である事を確認した。</p>
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

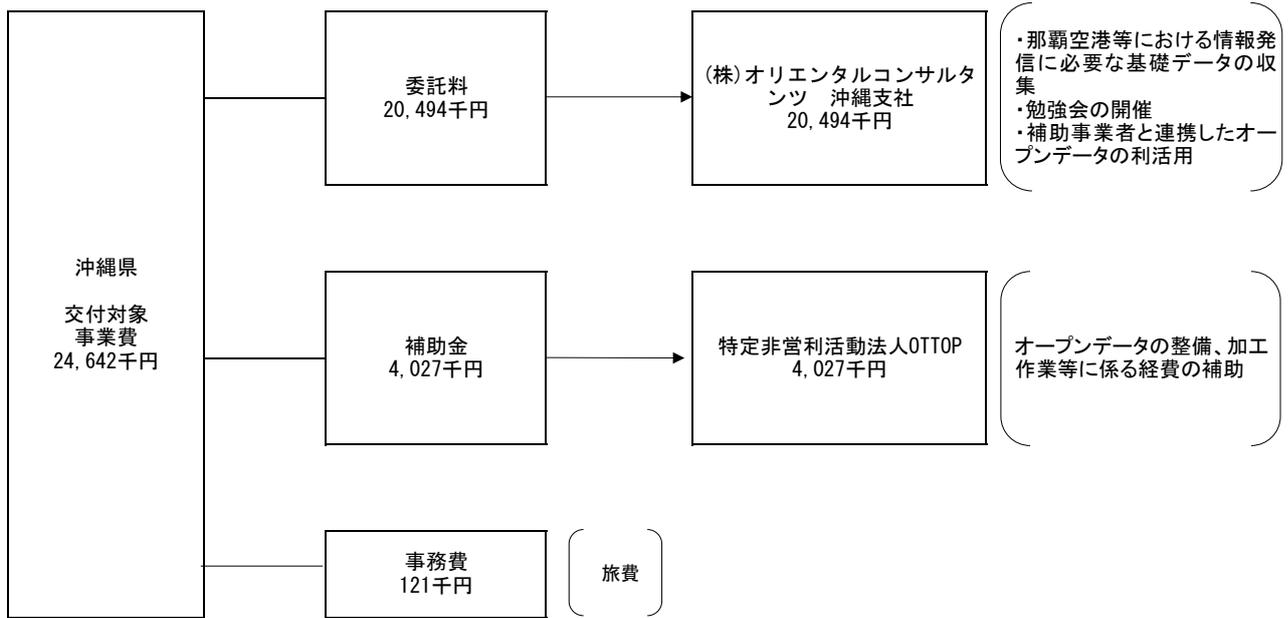
令和6年度沖縄振興特別推進交付金事業（県分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	137	観光情報基盤構築事業	新沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所 (第4章)	3-(2)-E-④			
担当部課名	文化観光スポーツ部	観光振興課	事業実施 (予定)年度	R4~R8	年度	観光二次交通の利便性向上及び利用促進	
						Ⅲ-1-(1)	
事業内容	新規のバス路線等やダイヤ改正、料金改定など、観光客が必要とする交通情報等について、最新の情報を収集・整理するとともに、交通事業者において、自ら改正内容等を更新するためのサイト等を運営し、大手のプラットフォーム等が最新のデータをDLするため、オープンデータとして提供出来る環境を構築する。 また、観光客が多く利用する空港や結節点において、交通情報等を提供できる環境を構築する。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】		R4年度	R4年度(繰越)	R5年度	R5年度(繰越)	R6年度	
	予算 の 状 況	(a) 当初予算額	15,750		32,523		26,017
		(b) 予算現額	15,750		32,523		26,017
		(c) 増減額(b-a)	0	0	0	0	0
		(d) 前年度繰越額					
		A. 計(b+d)	15,750	0	32,523	0	26,017
	B. 執行済額		15,723		32,510		24,642
	うち交付金充当額		12,578		26,008		19,713
	C. 次年度繰越額				0	0	0
	執行率(%) (B/A)		99.8%		100.0%		94.7%
予算の状況の説明		執行率は94.7%であり、主に旅費の執行残が発生したことによるものである。					
活動目標 (指標) 及び進捗状況	R6活動目標(指標)		進捗状況				
			R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	
	観光基盤情報の収集整備件数		目標	200件	200件	200件	
			実績	382件	208件	395件	
進捗 状 況 説 明	・観光基盤情報の収集整備件数は、活動目標が200件で、収集整備件数が395件となっており、目標を達成した。						
成果目標 (指標) 及び達成状況	R6成果目標(指標)		基準値 (〇〇年度)	R4年度	R5年度	R6年度	目標値 (〇〇年度)
			目標	300件	300件	300件	
	整備したデータのダウンロード件数(新規)		実績	322件	416件	790件	
	達成 状 況 説 明	・整備したデータのダウンロード件数は、成果目標が300件で、ダウンロード実績件数は790件となっており、目標を達成した。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	外国人観光客が段階的に増加し、令和7年7月の大型テーマパーク開業に伴い、ますます免許を持たない観光客の増加が見込まれるため、オープンデータを活用した更なる観光情報基盤を構築する必要がある。	観光客に公共交通機関の運行情報や観光施設までの移動方法など観光情報をわかりやすく伝える必要があるため、那覇空港、交通結節点及び観光地等において、オープンデータを活用した観光2次交通などの観光情報をデジタルサイネージなどにより、わかりやすく表示できる方法などを検証する必要がある。
今後の取り組み方針		
新規のバス路線等やダイヤ改正、料金改定など、観光客が必要とする交通情報等について、最新の情報を収集・整理するとともに、那覇空港や交通結節点等における観光客の移動手段などを分析したうえで、必要とする観光情報の整理やオープンデータを活用した情報発信の検討・実施に取り組む。		

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	うち交付金充当額	うち県負担金	うち市町村負担金	その他	交付対象外経費
24,642	24,642	19,713	4,929	0	0	0



資金の流 れ、費 目 点 検 評 価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託事業者は、企画提案プロポーザルにより、事業の内容に沿って選定したため、妥当であったと考える。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	○補助事業者については、補助率の上限を80%にしており、適正な受益者負担と考える。
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

令和6年度沖縄振興特別推進交付金事業（県分）検証シート【公表用】

事業番号 ・事業名	144	Be.OkinawaFreeWi-Fi推進事業	新沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所 (第4章)	3-(2)-E-②			
				世界のビジネスパーソン等が訪れるワーケーション拠点の形成			
担当部課名	文化観光スポーツ部 観光振興課	事業実施 (予定)年度	H25～R6 年度	沖縄振興基本方針 該当箇所	Ⅲ-1-(1)		
事業内容	リダイレクトサイトのUI/UX向上、ステッカーを作成等の周知活動、オープンローミングの活用に関する検証等により、Be.Okinawa Free Wi-Fiの認知度及び利便性の向上を図る。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他 ()						
予算額・ 執行額 【単位:千円】	予算 の 状 況		R4年度	R4年度(繰越)	R5年度	R5年度(繰越)	R6年度
		(a) 当初予算額	2,847		25,764		14,369
		(b) 予算現額	2,847		25,764		14,369
		(c) 増減額(b-a)	0	0	0	0	0
		(d) 前年度繰越額					
		A. 計(b+d)	2,847	0	25,764	0	14,369
		B. 執行済額	2,694		25,630		14,238
		うち交付金充当額	2,155		20,504		11,390
		C. 次年度繰越額	0	0	0	0	0
		執行率(%) (B/A)	94.6%		99.5%		99.1%
予算の状況の説明	執行率は99.1%であり、概ね計画的に実行できた。						
活動目標 (指標) 及び進捗状況	R6活動目標(指標)		進捗状況				
			R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	
	①ステッカー作成	目標	実施	実施	実施	実施	
		実績	実施済	実施済	実施済	実施済	
	②Be.Okinawa Free Wi-Fi協議会の開催	目標	—	4回	2回	2回	
		実績	—	2回	2回	2回	
進捗状況説明	①令和3年度から継続して、利便性と安全性の周知を目的にステッカーを作成している。令和6年度はマハエちゃんを起用した視認性の高いデザインを制作し、二次元コード等を通じて利用促進と認知向上を段階的に図っている。 ②Be.Okinawa Free Wi-Fi協議会を2回開催し、AP・エリアの普及・拡大や同Wi-Fiのあり方や今後の対策に関する検討を行った。						
成果目標 (指標) 及び達成状況	R6成果目標(指標)		基準値 (〇〇年度)	R4年度	R5年度	R6年度	目標値 (R7年度)
	利用者アンケート満足の割合 (令和6年度)満足の割合40.1%→75%(R6)	目標	—	—	—	75.0%	—
		実績	—	—	—	69.2%	—
	達成状況説明	Be.Okinawa Free Wi-Fi利用者アンケート(日・英・簡・繁・韓)によると、「満足+やや満足」で69.2%と昨年の59.9%から約10ポイントアップしているが、目標は達成できなかった。回答者数と満足度が増加していることから、観光客及び居住者におけるFree Wi-Fiのニーズは未だ顕在ということが思料される。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	国内では大容量通信プランの普及によりFree Wi-Fiの必要性が薄れる一方、訪日外国人には貴重な通信インフラとして依然高いニーズがある。外部環境の変化として、公共交通機関やコンビニでのサービス終了が相次いでいるが、インバウンド対応や災害時の通信確保の観点から、観光地におけるFree Wi-Fiの重要性はむしろ高まっていると预料される。	利用者の満足度向上には、接続手続きの簡略化と通信速度の高速化が不可欠である。昨年度の実証実験では、一度の設定で世界中の対応スポットに自動接続できる「OpenRoaming」が、外国人旅行者を中心に高い利便性とセキュリティを両立できる有効な手段であると確認された。今後は、既存スポットのOpenRoaming対応を進めることで、接続の煩雑さを解消し、利用効率を劇的に向上させる余地があると思料される。

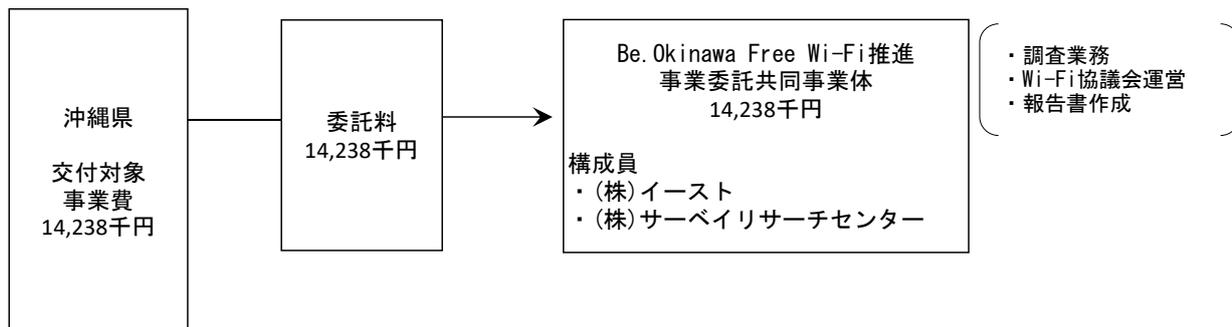
今後の取り組み方針

令和7年度は、沖縄応援ポケモン「ガーディ」を起用した新デザインのステッカーを展開し、視認性と認知度のさらなる向上を図る。また、交通接続点や離島へのOpenRoaming導入を優先的に推進し、シームレスな通信環境を整備する。また、推進会議を引き続き定期的に行い、民間施設への導入補助等を検討し、観光客の満足度向上とOpen Roamingの定着を図っていききたい。

資金の流れ

(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	うち交付金				交付対象外経費
		充当額	負担金	負担金	その他	
14,238	14,238	11,390	2,848	0	0	0



資金の 使途の 流れ、 点検 評価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○各事業業務委託の委託先の選定については、事業内容に応じて企画提案選定を適切に実施し、適正に業者を選定した。 ○事業内容に見合う適正な予算規模であった。 ○費目・使途については、事業期間中及び完了時に証憑等の関係書類を検査し、適正であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

令和6年度沖縄振興特別推進交付金事業（県分）検証シート【公表用】

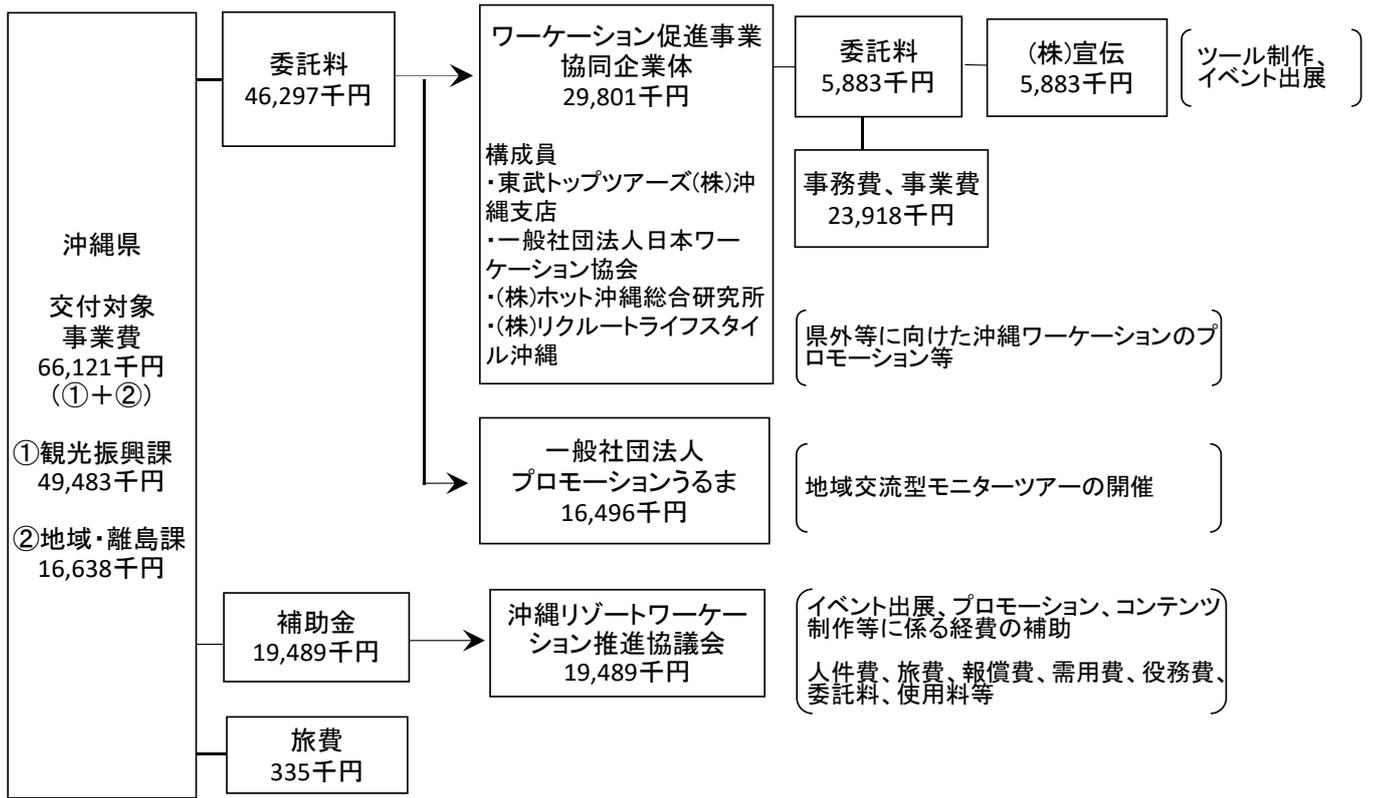
事業番号・事業名	155	沖縄ワーケーション促進事業	新沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所 (第4章)	3-(2)-エ-②			
担当部課名	文化観光スポーツ部 観光振興課 企画部 地域・離島課	事業実施 (予定)年度	R2~R13 年度	沖縄振興基本方針 該当箇所			
事業内容	国内観光客の増加、滞在日数の延伸及び来訪時期の平準化を図ることを目的に、県外企業等向けに「新しい生活様式」を踏まえた沖縄ワーケーションを促進するプロモーションを行うとともに、ワーケーション目的で来島する方などを対象として、離島・過疎地域の現状等を学び・体験するモニターツアーを実施し、離島・過疎地域ならではのワーケーションの魅力を発信していく。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他 ()						
予算額・ 執行額 【単位:千円】	予算の状況	R4年度	R4年度(繰越)	R5年度	R5年度(繰越)	R6年度	
	(a) 当初予算額	85,218		76,178		69,213	
	(b) 予算現額	85,218		76,178		69,213	
	(c) 増減額(b-a)	0		0	0	0	
	(d) 前年度繰越額	0		0			
	A. 計(b+d)	85,218		76,178	0	69,213	
	B. 執行済額	79,999		74,773		66,121	
	うち交付金充当額	63,999		59,818		52,897	
	C. 次年度繰越額	0		0	0	0	
	執行率(%) (B/A)	93.9%		98.2%		95.5%	
予算の状況の説明	執行率は95.5%であり、概ね計画的に執行できた。						
活動目標 (指標) 及び進捗状況	R6活動目標(指標)	進捗状況					
			R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	
	①プロモーション実施数	目標	4回	4回	4回	4回	
		実績	4回	4回	4回	4回	
	②地域交流型モニターツアーの開催	目標	—	5回	5回	5回	
		実績	—	5回	5回	6回	
	③情報の一元化(情報の集約・情報発信)	目標	—	情報を集約するWEBサイト立ち上げる	webサイトを活用して情報を発信する。	webサイトを活用して情報を発信する。	
実績		—	情報を集約したWEBサイト立ち上げた	webサイトを活用して情報を発信した。	webサイトを活用して情報を発信した。		
進捗状況説明	①IT系のイベントに4回出席した ②地域交流型モニターツアーについては、離島・過疎地域で6回開催した。 ③webサイトを活用して、県内のワーケーションに関する情報を発信した。						
成果目標 (指標) 及び達成状況	R6成果目標(指標)	基準値 (〇〇年度)	R4年度	R5年度	R6年度	目標値 (〇〇年度)	
	①来県者のうち、ワーケーション目的の割合	目標	—	3.6%	3.6%	3.6%	—
		実績	—	3.6%	1.8%	1.5%	—
	②モニターツアー参加者数	目標	—	40人	40人	40人	—
		実績	—	40人	41人	44人	—
	達成状況説明	①来島者のうち、ワーケーション目的の割合は、コロナ禍が終息し観光客数が回復するに伴い、割合で測る目標の達成が難しい状況となってきた。そのため、R7年度からは目標をワーケーション目的の延泊数に変更する。 ②離島・過疎地域における地域交流型モニターツアー参加者数については、目標40人に対し実績44人となり、目標を達成した。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<ul style="list-style-type: none"> ワーケーションについては、全国的に各自治体においても推進していることから、沖縄の強みを活用したワーケーションを訴求することや戻りつつあるインバウンドへの対応が必要がある。 地域交流型モニターツアーについては、地域課題等に触れるツアーに一定の需要があることが確認できた。 	<ul style="list-style-type: none"> 観光誘客の新たな切り口であるワーケーションについては、ウェルネスなど、沖縄の強みを活かしたプロモーションを実施するとともに、企業の課題に沿ったワーケーションの提案や海外に対する情報発信等に取り組む。 地域の現状や課題などを学び・体験するツアーを実施し、引き続き、関係人口創出につながる事業を推進していく。

今後の取り組み方針
<ul style="list-style-type: none"> 沖縄におけるワーケーションの普及については、他地域と差別化を図るため、自然遺産や、文化遺産等を活用した沖縄の資源を活かしたプロモーションを実施する。 対象地域やツアー内容等の見直しを図りながら、離島地域ならではの地域の現状や課題等を学び・体験・交流するモニターツアーを実施し、地域との継続的な関わりを持てる環境づくりを引き続き行う。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	うち交付金充当額	うち県負担金	うち市町村負担金	その他	交付対象外経費
66,121	66,121	52,897	13,224	0	0	0



資金の用途の点検・評価	評価	点検項目	評価に関する説明
資金の用途の点検・評価	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託事業者は、公募型プロポーザル方式により、提案内容、実施体制、実績等を勘案した上で選定しており、妥当であったと考える。 ○費目・用途については、事業目的の達成の観点から真に必要な費用なのかなど、額の確定時において、支出等に関する書類により確認しており、適切であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

令和6年度沖縄振興特別推進交付金事業（県分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	154	戦略的MICE誘致促進事業	新沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所 (第4章)	3-(2)-オ-① MICE振興とビジネスツーリズムの推進																																																																																																											
担当部課名	文化観光スポーツ部 MICE推進課 商工労働部 グローバルマーケット戦略課	事業実施(予定)年度	H24~R8 年度	沖縄振興基本方針 該当箇所																																																																																																											
事業内容	沖縄MICE振興戦略に基づき、国内外での誘致・プロモーション活動を強化するとともに、沖縄MICEネットワークなど産学官と連携し、MICEの誘致活動や受入体制の整備、専門人材の育成等に取り組む。																																																																																																														
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)																																																																																																														
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他 ()																																																																																																														
予算額・執行額 【単位:千円】	<table border="1"> <tr> <td rowspan="10" style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;"> 予算の状況 </td> <td>(a) 当初予算額</td> <td>220,559</td> <td></td> <td>235,076</td> <td></td> <td>194,985</td> </tr> <tr> <td>(b) 予算現額</td> <td>220,559</td> <td></td> <td>235,076</td> <td></td> <td>194,985</td> </tr> <tr> <td>(c) 増減額 (b-a)</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>(d) 前年度繰越額</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>A. 計 (b+d)</td> <td>220,559</td> <td>0</td> <td>235,076</td> <td>0</td> <td>194,985</td> </tr> <tr> <td>B. 執行済額</td> <td>218,271</td> <td></td> <td>218,456</td> <td></td> <td>182,934</td> </tr> <tr> <td> うち交付金充当額</td> <td>174,616</td> <td></td> <td>161,959</td> <td></td> <td>146,347</td> </tr> <tr> <td>C. 次年度繰越額</td> <td></td> <td></td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>執行率 (%) (B/A)</td> <td>99.0%</td> <td></td> <td>92.9%</td> <td></td> <td>93.8%</td> </tr> <tr> <td>予算の状況の説明</td> <td colspan="5"> ・令和6年度の執行率は93.8%と令和5年度より0.9%改善した。執行残は主に委託料において、開催支援等の実施件数が目標よりも減となったことによるものである。 </td> </tr> </table>	予算の状況	(a) 当初予算額	220,559		235,076		194,985	(b) 予算現額	220,559		235,076		194,985	(c) 増減額 (b-a)	0	0	0	0	0	(d) 前年度繰越額						A. 計 (b+d)	220,559	0	235,076	0	194,985	B. 執行済額	218,271		218,456		182,934	うち交付金充当額	174,616		161,959		146,347	C. 次年度繰越額			0	0	0	執行率 (%) (B/A)	99.0%		92.9%		93.8%	予算の状況の説明	・令和6年度の執行率は93.8%と令和5年度より0.9%改善した。執行残は主に委託料において、開催支援等の実施件数が目標よりも減となったことによるものである。					R4年度	R4年度(繰越)	R5年度	R5年度(繰越)	R6年度																																												
予算の状況	(a) 当初予算額		220,559		235,076		194,985																																																																																																								
	(b) 予算現額		220,559		235,076		194,985																																																																																																								
	(c) 増減額 (b-a)		0	0	0	0	0																																																																																																								
	(d) 前年度繰越額																																																																																																														
	A. 計 (b+d)		220,559	0	235,076	0	194,985																																																																																																								
	B. 執行済額		218,271		218,456		182,934																																																																																																								
	うち交付金充当額		174,616		161,959		146,347																																																																																																								
	C. 次年度繰越額				0	0	0																																																																																																								
	執行率 (%) (B/A)		99.0%		92.9%		93.8%																																																																																																								
	予算の状況の説明	・令和6年度の執行率は93.8%と令和5年度より0.9%改善した。執行残は主に委託料において、開催支援等の実施件数が目標よりも減となったことによるものである。																																																																																																													
活動目標(指標)及び進捗状況	<table border="1"> <tr> <th rowspan="2">R6活動目標(指標)</th> <th colspan="5">進捗状況</th> </tr> <tr> <th></th> <th>R3年度</th> <th>R4年度</th> <th>R5年度</th> <th>R6年度</th> </tr> <tr> <td rowspan="2">国内外の展示商談会での商談件数</td> <td>目標</td> <td>20件</td> <td>300件</td> <td>230件</td> <td>300件</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>63件</td> <td>71件</td> <td>104件</td> <td>136件</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">開催支援等の実施件数</td> <td>目標</td> <td>302件</td> <td>355件</td> <td>80件</td> <td>80件</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>20件</td> <td>79件</td> <td>53件</td> <td>41件</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">MICEの受入体制の維持・拡充に向けた人材育成研修の実施(受講者延べ人数) (※令和2年度までは開催支援を活用したMICEへの参加者数)</td> <td>目標</td> <td>240人</td> <td>300人</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>120人</td> <td>183人</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">MICE専門家等アドバイザーの派遣件数</td> <td>目標</td> <td>-</td> <td>5件</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>-</td> <td>6件</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">展示会等個別誘致営業及びプロモーション活動件数</td> <td>目標</td> <td>20件</td> <td>20件</td> <td>20件</td> <td>20件</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>44件</td> <td>45件</td> <td>25件</td> <td>36件</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">展示会等への開催支援件数</td> <td>目標</td> <td>3件</td> <td>3件</td> <td>3件</td> <td>2件</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>0件</td> <td>2件</td> <td>2件</td> <td>1件</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">展示会等誘致・開催検討会の実施回数</td> <td>目標</td> <td>-</td> <td>2回</td> <td>3回</td> <td>3回</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>1回</td> <td>2回</td> <td>2回</td> <td>3回</td> </tr> </table>	R6活動目標(指標)	進捗状況						R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	国内外の展示商談会での商談件数	目標	20件	300件	230件	300件	実績	63件	71件	104件	136件	開催支援等の実施件数	目標	302件	355件	80件	80件	実績	20件	79件	53件	41件	MICEの受入体制の維持・拡充に向けた人材育成研修の実施(受講者延べ人数) (※令和2年度までは開催支援を活用したMICEへの参加者数)	目標	240人	300人	-	-	実績	120人	183人	-	-	MICE専門家等アドバイザーの派遣件数	目標	-	5件	-	-	実績	-	6件	-	-	展示会等個別誘致営業及びプロモーション活動件数	目標	20件	20件	20件	20件	実績	44件	45件	25件	36件	展示会等への開催支援件数	目標	3件	3件	3件	2件	実績	0件	2件	2件	1件	展示会等誘致・開催検討会の実施回数	目標	-	2回	3回	3回	実績	1回	2回	2回	3回	<table border="1"> <tr> <td rowspan="10" style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;"> 進捗状況説明 </td> <td colspan="5"> ・国内外の展示商談会については、6つの展示商談会等へ出展し誘致・プロモーション活動を行った。展示商談会を絞り込んで参加したことから、商談件数については目標値を達成できなかったが、各市場において情報収集を行うとともに、過年度に商談を行ったバイヤーを中心に顧客動向と案件獲得に向けた意見交換を行うことで更なる関係性を構築することができた。 </td> </tr> <tr> <td colspan="5"> ・開催支援等については、MICE貸切バス等運行支援、コンベンション開催支援を実施した。バス支援については、支援対象をコンベンションに限定したため支援件数については目標を未達成となっているが、支援を行うことによりMICEの誘致及び満足度向上に繋げることができた。 </td> </tr> <tr> <td colspan="5"> ・展示会等への開催支援件数については、申請件数が1件のみだったため目標値を達成することができなかったが、展示会個別誘致営業及びプロモーションについては、目標を大きく上回る実施により、沖縄開催の可能性が高い展示会が増加した。 </td> </tr> <tr> <td colspan="5"> ・展示会等誘致・開催検討会の実施回数については、沖縄MICEネットワークを活用し受入体制の強化等に向けて検討会を3回実施し目標を達成した。県内市町村と連携し沖縄開催の課題や必要な受入体制の強化等について意見交換を行い、今後の取組に繋がるものとなった。 </td> </tr> </table>	進捗状況説明	・国内外の展示商談会については、6つの展示商談会等へ出展し誘致・プロモーション活動を行った。展示商談会を絞り込んで参加したことから、商談件数については目標値を達成できなかったが、各市場において情報収集を行うとともに、過年度に商談を行ったバイヤーを中心に顧客動向と案件獲得に向けた意見交換を行うことで更なる関係性を構築することができた。					・開催支援等については、MICE貸切バス等運行支援、コンベンション開催支援を実施した。バス支援については、支援対象をコンベンションに限定したため支援件数については目標を未達成となっているが、支援を行うことによりMICEの誘致及び満足度向上に繋げることができた。					・展示会等への開催支援件数については、申請件数が1件のみだったため目標値を達成することができなかったが、展示会個別誘致営業及びプロモーションについては、目標を大きく上回る実施により、沖縄開催の可能性が高い展示会が増加した。					・展示会等誘致・開催検討会の実施回数については、沖縄MICEネットワークを活用し受入体制の強化等に向けて検討会を3回実施し目標を達成した。県内市町村と連携し沖縄開催の課題や必要な受入体制の強化等について意見交換を行い、今後の取組に繋がるものとなった。				
R6活動目標(指標)	進捗状況																																																																																																														
		R3年度	R4年度	R5年度	R6年度																																																																																																										
国内外の展示商談会での商談件数	目標	20件	300件	230件	300件																																																																																																										
	実績	63件	71件	104件	136件																																																																																																										
開催支援等の実施件数	目標	302件	355件	80件	80件																																																																																																										
	実績	20件	79件	53件	41件																																																																																																										
MICEの受入体制の維持・拡充に向けた人材育成研修の実施(受講者延べ人数) (※令和2年度までは開催支援を活用したMICEへの参加者数)	目標	240人	300人	-	-																																																																																																										
	実績	120人	183人	-	-																																																																																																										
MICE専門家等アドバイザーの派遣件数	目標	-	5件	-	-																																																																																																										
	実績	-	6件	-	-																																																																																																										
展示会等個別誘致営業及びプロモーション活動件数	目標	20件	20件	20件	20件																																																																																																										
	実績	44件	45件	25件	36件																																																																																																										
展示会等への開催支援件数	目標	3件	3件	3件	2件																																																																																																										
	実績	0件	2件	2件	1件																																																																																																										
展示会等誘致・開催検討会の実施回数	目標	-	2回	3回	3回																																																																																																										
	実績	1回	2回	2回	3回																																																																																																										
進捗状況説明	・国内外の展示商談会については、6つの展示商談会等へ出展し誘致・プロモーション活動を行った。展示商談会を絞り込んで参加したことから、商談件数については目標値を達成できなかったが、各市場において情報収集を行うとともに、過年度に商談を行ったバイヤーを中心に顧客動向と案件獲得に向けた意見交換を行うことで更なる関係性を構築することができた。																																																																																																														
	・開催支援等については、MICE貸切バス等運行支援、コンベンション開催支援を実施した。バス支援については、支援対象をコンベンションに限定したため支援件数については目標を未達成となっているが、支援を行うことによりMICEの誘致及び満足度向上に繋げることができた。																																																																																																														
	・展示会等への開催支援件数については、申請件数が1件のみだったため目標値を達成することができなかったが、展示会個別誘致営業及びプロモーションについては、目標を大きく上回る実施により、沖縄開催の可能性が高い展示会が増加した。																																																																																																														
	・展示会等誘致・開催検討会の実施回数については、沖縄MICEネットワークを活用し受入体制の強化等に向けて検討会を3回実施し目標を達成した。県内市町村と連携し沖縄開催の課題や必要な受入体制の強化等について意見交換を行い、今後の取組に繋がるものとなった。																																																																																																														

成果目標 (指標) 及び達成状況	R6成果目標(指標)		基準値 (〇〇年度)	R4年度	R5年度	R6年度	目標値 (〇〇年度)
	県外・海外からのインセンティブ旅行件数	目標			1,100件	1,100件	1,200件
実績				580件	993件	1329件	
国内・国際会議開催件数 ※ICCA(国際会議協会)基準及びJCCB(日本 コンGRESS・コンベンション・ビューロー)調査に 基づくもの	目標			200件	56件	200件	
	実績			31件	35件	34件	
MICEネットワークの強化:会員数	目標			160団体	160団体	160団体	
	実績			215団体	208団体	198団体	
有望展示会等の誘致	目標			3件	3件	3件	
	実績			0アクセス	2件	4件	
展示会等の開催件数	目標			80件	80件	30件	
	実績			91件	183件	229件	
経営者向けセミナー及び従業員向け研修の 開催	目標			—	—	2回	
	実績			—	—	2回	
達成 状況 説明	<p>・MICEネットワークの会員数については、コロナ禍後は、人材の不足や会費徴収の再開などが相まって減少傾向にあるものの、MICEビジネスへの興味の拡大や、各部会・検討会等の活動とその内容が評価された結果、目標会員数を上回る水準で推移している。</p> <p>・有望展示会等の誘致については、沖縄県での開催に前向きな主催者に対し、キーパーソンを紹介を行うなど、開催に向けた調整等を継続的に実施したことで、目標を達成した。</p> <p>・経営者向けセミナー及び従業員向け研修の開催については、沖縄MICEネットワークを活用し事業者向け展示会に関する勉強会や学生向けMICEに関する勉強会を計2回開催し目標を達成した。展示会産業の必要性や沖縄MICEの可能性を周知することで人材の育成を図るとともに事業者の受入体制の強化に繋げることができた。</p>						

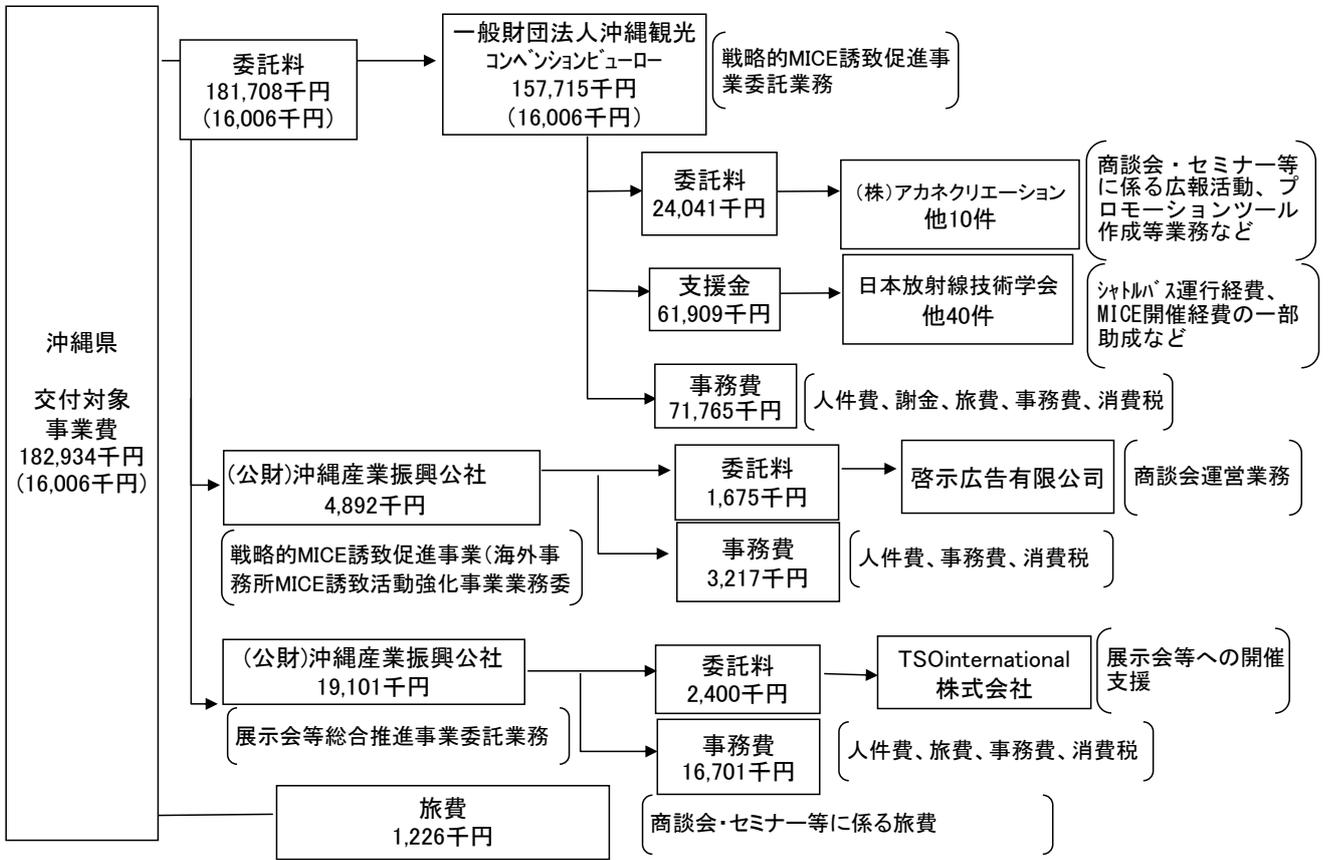
R6-No.154

	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組 の 検証	<p>・県外・海外からのインセンティブ旅行や国内・国際会議の誘致にあたっては、沖縄について認知されているものの、県内のMICE施設やユニークベニュー、ビフォー、アフターMICEなどMICEコンテンツについて認知不足となっている、また、東南アジアと類似のイメージを持たれており、沖縄ならではの発信が課題となっている。</p> <p>・受入体制の強化につながる沖縄MICEネットワーク会員獲得については、コロナ禍からの回復に向けて人手不足などに取り組む事業にとってMICE受入への関心が低くなっていることもあり、会員数が減少している。</p>	<p>・主催者やバイヤー等に対する継続的な情報発信、関係性の構築が重要であり、また沖縄の文化を協調した訴求が必要となってくる。</p> <p>・OMNWEBサイト内、企業情報を登録いただき充実したWEBページになるよう登録・更新の呼びかけを行うなど、ネットワークのメリットを明確に示し、入会促進につなげていく必要がある。</p>
今後の取り組み方針		
<p>・有望展示会等の誘致は、主催者等と継続的に接触し、沖縄開催への魅力を高めていく必要があり、そのきっかけとなるプロモーション活動の積極的な展開が必要である。</p> <p>・MICE専門人材育成セミナーでは、ワークショップを中心としたプログラムに変更し、参加者のさらなるスキルアップを目指す。</p> <p>・商談会やメディア等を通して県内のMICE施設やコンテンツの継続的な情報発信を行い、また沖縄ならではの文化を強調した誘致プロモーションを実施することで他地域との差別化を図っていく。</p>		

資金の流れ

(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	うち交付金充当額	うち県負担金	うち市町村負担金	その他	交付対象外経費
198,940	182,934	146,347	36,587	0	0	16,006



資金の 使途の 流れ・ 費目・ 点検 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○本事業はMICE関連事業者等と連携を図り官民一体となってMICE誘致を行うものであるため、公的性質を持ち、かつ、県のMICE関連施策及び全県的なMICEに関する情報を十分に把握している唯一の団体であるOCVBへの委託は妥当であった。 ○費目・使途については委託料の検査時において支出等に関する書類により適正であったことを確認している。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	